

# 塚越貝坪遺跡, 畑総No.15遺跡発掘調査概要

—県営畑地帯総合整備事業呉羽射水山ろく地区に伴う埋蔵文化財発掘調査—

2000年

小杉町教育委員会



塚越貝坪遺跡 北地区 古墳時代の土坑 (SK16)



塚越貝坪遺跡 南地区 奈良時代の土坑 (SK01)

## 序

小杉町は富山県のほぼ中央にあって、南部には標高117mの高津峰山を主峰とするなだらかな丘陵地帯が北に向かって8km程続き、北部には広大な田園地帯が開ける緑豊かな町であります。

この射水丘陵では過去二十数年余りの発掘調査から、越中における古代手工業（窯業・製鉄）生産の中心地であり、とりわけ製鉄業に関しては、全国的にみても有数の生産地拠点であったことが解ってきております。

当地に古代の先進的な技術がいち早く伝わり、地元の人々が従事しながら習得し発展させた、活気溢れる工人たちの姿や丘陵のいたるところで煙の立ち上る様子が思い浮かびます。

このたびの調査は、昭和57年に計画策定されました県営畑地帯総合土地改良事業に先立ち実施いたしました。

塚越貝坪遺跡の調査では、古墳時代や奈良～平安時代の食膳具などを大量に捨てたと考えられる土坑や掘立柱建物跡の柱穴と考えられる遺構などが見つかっています。また、畑総No.15遺跡の調査では、これまでの立地とは異なった平野の水田に隣接する丘陵端部の平坦地で、製鉄に用いる木炭を焼いていた炭焼窯の一部を確認することができました。

こうした調査成果をまとめた本書が、今後の調査研究を進めるうえで参考になり、郷土の歴史を知るための手がかり及び文化財保護の一助になれば幸いです。

終わりに、発掘調査から報告書刊行に至るまで、終始ご理解・ご協力いただきました地元の皆様をはじめ、関係各位に深く感謝を申し上げます。

平成12年3月

小杉町教育委員会

教育長 稲葉茂樹

## 例 言

1. 本書は、富山県射水郡小杉町塚越貝坪遺跡、同町中老田新地内に所在する畑総No15遺跡の発掘調査概要である。
2. 調査は、県営畑地帯総合整備事業具羽射水山ろく地区にかかる同町の農道新設工事に先立ち、小杉町教育委員会が富山県山田川水系ダム建設事務所からの依頼を受けて実施した。調査費用の地元農家負担分については、小杉町教育委員会が国庫補助金・県費補助金の交付を受けた。
3. 調査事務局は小杉町教育委員会生涯学習課に置き、文化財保護係長 古城久則が事務を担当し、生涯学習課長 俣後庄司が総括し、調査は主任 原田義範、主事 稲垣尚美が担当した。
4. 調査の期間と面積などは次のとおりである。  
塚越貝坪遺跡(北地区) 平成11(1999)年5月21日～同年6月24日(延べ20日間) 対象面積 447㎡  
塚越貝坪遺跡(南地区) 平成11(1999)年6月25日～同年8月21日(延べ25日間) 対象面積 576㎡  
畑総No15遺跡 平成11(1999)年8月25日～同年9月16日(延べ15日間) 対象面積 230㎡
5. 調査の実施にあたり、具羽射水山ろく用水土地改良区、富山県教育委員会文化財課、富山県埋蔵文化財センターから助言・指導を頂いた。また、報告書刊行に至るまで次の方々から教示を得た。記して深く謝意を表したい。(敬称略、五十音順)  
池野正男・上野 章・狩野 睦・久々忠義・酒井重洋・白石康夫・宮田進一
6. 発掘調査及び遺物整理の従事者は次のとおりである。(五十音順)  
[発掘調査] 石黒久仁子・北川キミ・黒田信子・酒井すず子・酒井義雄・砂原ヨキイ・中島清子・久野静枝  
三上正夫・村田長三・安田久実代  
[遺物整理] 金瀬ますみ・吉島正喜・関 一美・巖笠実津子・安田久実代・吉沢泰子
7. 調査で得た図面・写真・遺物は小杉町教育委員会が保管し、出土遺物には遺跡名を次の略号で記入している。  
塚越貝坪遺跡(北地区): T G K - N、塚越貝坪遺跡(南地区): T G K - S、畑総No15遺跡: H A T 15

## 凡 例

1. 本書の方位は真北、水平基準は海抜高である。
2. 各遺跡の座標は下記のとおりである。  
塚越貝坪遺跡(北地区): X 1 Y 5 = X 78102.9219 Y - 3878.1538  
塚越貝坪遺跡(南地区): X 4 Y 5 = X 77824.5421 Y - 4044.3571  
畑総No15遺跡 : X 10 Y 13 = X 77962.0000 Y - 3735.0000
3. 遺構の分類記号は次の呼称を略襲した。  
SD : 溝、SK : 土坑、S : 炭焼窯、SX : 不詳遺構、SP : 柱穴及び柱穴状ピット
4. 遺構図の縮尺はSDを1/80、SK・SXは1/40を基本にした。
5. 出土遺物実測図の縮尺は土器の1/4を基本とし、縮尺の異なる出土遺物についてはそれぞれのスケールとともにその縮尺を表記した。また遺物図版の縮尺は1/3を基本にし、異なる縮尺の場合には別に表記した。
6. 遺物実測図中の土器の表現は、須恵器と珠洲の断面を黒塗りし他の土器は白ぬきとした。
7. 七層図中の色調は、小山正忠・竹原秀雄編 1967『新版標準土色帖』日本色研事業株式会社を表記を用い、土色の測定には土色計(第一合成社製 SCR-1)を使用した。

## 目 次

I 地形と周辺の遺跡	1
II 調査に至る経緯	2
III 調査の概要	4
1. 塚越貝坪遺跡(北地区)	4
2. 塚越貝坪遺跡(南地区)	9
3. 畑総No15遺跡	16

## 挿図目次

第1図 地形と周辺の遺跡	1
第2図 試掘トレンチ位置と本調査箇所	3
第3図 塚越貝坪遺跡 地形と発掘区割り	5
第4図 塚越貝坪遺跡北地区・南地区遺構配置図	6
第5図 塚越貝坪遺跡(北地区)遺構図—SK 16・81, SP 32・82・85—	7
第6図 塚越貝坪遺跡(北地区)遺物実測図—SK 16・87, 遺構外の遺物—	8
第7図 塚越貝坪遺跡(南地区)遺構図—SK 01・03・49, SD 44—	11
第8図 塚越貝坪遺跡(南地区)遺構図—SK 02・04・10・210・217・233・246, SD 214—	12
第9図 塚越貝坪遺跡(南地区)遺物実測図—SK 02・03—	13
第10図 塚越貝坪遺跡(南地区)遺物実測図—SK 01—	14
第11図 塚越貝坪遺跡(南地区)遺物実測図—SK, SD, SP—	15
第12図 塚越貝坪遺跡(南地区)遺物実測図—遺構外の遺物—	16
第13図 畑総No15遺跡 地形と発掘区割り, 遺構配置図	17
第14図 畑総No15遺跡 遺構図—SD 01—	20
第15図 畑総No15遺跡 遺構図—SK 02・32・52, SX 53—	21
第16図 畑総No15遺跡 遺構図—S 63, SD 51, SX 44—	22
第17図 畑総No15遺跡 遺物実測図—遺構内の出土遺物—	23
第18図 畑総No15遺跡 遺物実測図—SX 44, 遺構外の遺物—	24

## 表 目 次

表1 県営畑地帯総合整備事業関連調査一覧	2
表2 塚越貝坪遺跡(北地区)遺構一覧	25
表3 塚越貝坪遺跡(北地区)出土遺物一覧	26
表4 塚越貝坪遺跡(南地区)遺構一覧	27
表5 塚越貝坪遺跡(南地区)出土遺物一覧	33
表6 畑総No15遺跡遺構一覧	36
表7 畑総No15遺跡出土遺物一覧	37

## I 地形と周辺の遺跡

小杉町は、富山県のほぼ中央に位置し、東に大門町や高岡市、北側で新湊市に、南側を婦中町や砺波市の一部と接する南北12km、東西4kmの町域となっている。南部の丘陵地が約4割、北部に広がる平野が6割ほど占めている。町の中央部を南北に流れる下条川は丘陵奥地から富山湾へ流れ込んでいる。

この射水丘陵の地質は、新生代第三期の泥岩・砂岩層によって構成される青井谷泥岩層からなり、上部に呉羽山礫層が点在している。射水丘陵は下条川とその小支流が細かく谷を刻む樹枝状の地形となり、起伏に富んだ小丘陵が広がっている。この丘陵裾部から開ける射水平野は、下条川や和田川、鍛冶川に浸食された丘陵の砂・粘土・礫が堆積し形成されたとされている[北林 1956]。

丘陵部の遺跡は、旧石器時代では高山遺跡をはじめとする20箇所余り、縄文時代早期の椎土・南太閤山Ⅱ遺跡から晩期の北野遺跡など約70箇所が確認されている[久々 1997]。これらの遺跡は、いずれも平野に面した丘陵端部や谷筋に見られる。弥生・古墳時代の遺跡には、丘陵上に位置する上野遺跡や中山南遺跡などと下条川沿いの平野部に立地する伊勢領遺跡・HS-04遺跡など78箇所で見つかっている。小杉町域で約207箇所と最も多い古代遺跡は、丘陵地に見られる小杉丸山遺跡をはじめとする須恵器や鉄の生産遺跡と平野に多く立地する黒河尺目などの集落遺跡に別けられる。中世以降では、在地領主の居館跡と見られる遺構を検出した針原東遺跡や白石遺跡などが平野部で近年確認されてきている。

塚越貝坪・畑総No15遺跡は丘陵端部の台地上に立地し、西側に隣接する黒河尺目遺跡では、縄文時代から中世と多岐にわたる遺物が出土しており、とくに古代の掘立柱建物群を有する大規模な集落跡が確認されている。



第1図 地形と周辺の遺跡 (1/50,000)

## II 調査に至る経緯

射水丘陵東部から呉羽丘陵西麓にかけての一带は、緩斜面を有する起伏に富んだ地形と黒色土・黄色火山灰層が発達した土壌のため、県内でも有数の畑作地帯として利用されている。昭和57年富山県が事業主体となり、この地域一帯で圃場整備を目的とした県営畑地帯総合土地改良事業が示された。

要旨、この計画を受けて富山県埋蔵文化財センターが中心となり、計画地内の遺跡分布調査を実施し、周辺の遺跡を含め約140箇所の埋蔵文化財包蔵地が確認され、この調査結果をもとに当該市町・県文化課・埋文センター、県農地林務部耕地課・県山田川ダム工事事務所、地元呉羽射水山ろく用水土地改良区が遺跡の取り扱いについて協議を行ない、昭和58年から発掘調査が行なわれている〔酒井 1986〕。

小杉町での発掘調査は昭和59年の草山B遺跡から開始され、昭和63年に実施した塚越大沢Ⅱ遺跡の調査まで継続して行なわれている。その後、社会環境や農業を取り巻く環境の変化等により、約8年間事業の進展が見られなかった。

平成9年2月、県山田川水系ダム建設事務所・呉羽射水山ろく用水土地改良区から、小杉町塚越地区の農道・用排水路・パイプライン敷設などの農業環境整備を含めた新たな県営畑地帯総合整備事業計画が小杉町教育委員会に示された。以後各工事内容と遺跡の取り扱いの協議を行ない、平成10年6月から幹線及び支線農道の試掘調査や排水路工の工事立会などが始まった。

平成11年度は、地下遺構に影響が及ぶ支線5・8号農道にかかる塚越員坪遺跡と支線6号農道にかかる畑総No15遺跡で本調査を実施している。

年度	遺跡名	調査期間	調査の種類	発掘面積	時代	遺構	遺物
S.59	草山B	1984.7.2～7.11 (延べ6日間)	1次試掘調査	約241㎡	旧石器・奈良・平安	ユニット1・炭焼窯5 製鉄炉or炭焼窯1・住居跡1	石器・須恵器
S.59	草山B	1984.11.19～11.22 (延べ3日間)	2次試掘調査	約240㎡	旧石器・奈良・平安	炭焼窯3・土坑2	須恵器・土師器
S.60	草山B	1985.8.1～11.1 (延べ45日間)	本調査	約1,250㎡	旧石器・縄文・平安	ユニット2・炭焼窯2・焼壺土坑2	石器・縄文土器 須恵器・土師器・鉄滓
S.61	北野・稚土	1986.5.12～5.27 (延べ9日間)	試掘調査	1,140㎡	旧石器・縄文・古墳 奈良・平安	炭焼窯	ナイフ形石器・縄文土器 石器・土師器・須恵器・鉄滓
S.61	北野	1986.9.1～12.8 (延べ43日間)	本調査	2,330㎡		焼壺土坑2・縄文時代の住跡2・土坑10 古墳時代の古墳跡2・土坑11遺1・焼壺土坑3	石器・縄文土器・土師器 須恵器・ワイブの羽口・鉄滓
S.61	稚土	1986.9.10～11.27 (延べ43日間)	本調査	2,595㎡	奈良・平安	炭焼窯8・製鉄炉2・鍛冶遺構1	須恵器・土師器 ワイブの羽口・鉄滓・珠洲
S.62	稚土	1987.5.7～7.28 (延べ55日間)	本調査	1,300㎡	旧石器・縄文・平安	炭焼窯14・製鉄炉2・土坑10	石器・縄文土器・土師器 須恵器・珠洲
S.62	塚越員坪	1987.10.12～10.16 (延べ5日間)	試掘調査	490㎡	縄文・古墳・奈良 中世	土坑・溝	縄文土器・土師器・須恵器 珠洲・中世土師器
S.63	塚越員坪	1988.11.1～12.2 (延べ3日間)	試掘調査	86㎡	縄文・古墳・奈良 中世	小土坑・土坑4・溝2	縄文土器・土師器・須恵器 鉄滓・中世陶器
S.63	塚越大沢Ⅱ	1988.10.31～12.2 (延べ11日間)	試掘調査	280㎡	奈良・平安		鉄滓
H.10	畑総No.16	1998.6.23～6.24 (延べ2日間)	試掘調査	101㎡			
H.10	黒河新 三十三塚	1998.6.24 (延べ1日間)	試掘調査	37㎡			
H.10	畑総No.15	1998.6.26 (延べ1日間)	試掘調査	197㎡			
H.11	畑総No.17	1999.5.13～1.14 (延べ2日間)	試掘調査	104㎡			
H.11	畑総No.15	1999.5.14～5.15 (延べ2日間)	試掘調査	24㎡	奈良・平安・中世	溝・土坑	須恵器・珠洲

表1 県営畑地帯総合整備事業関連調査一覧



第2図 試掘トレンチ位置と本調査箇所



### Ⅲ 調査の概要

#### 1. 塚越貝坪遺跡(北地区)

**立地と層序(第2・3図)** 調査地は標高4.50~5.00mの扇状に張り出した台地の先端に位置し、畑地や育樹地として利用されている。周囲の一段低い水田との比高差は約0.60mほどである。基本的な層序は、上部からI層黒色の耕作土(15~20cm)、II層黄灰褐色の漸移層(5~10cm)、III層は粘性のある黄褐色の地山となる。

**遺構(第4図)** 北地区は架畑として利用していた箇所や育樹木の根まき痕や風倒木痕、稻架穴、地境に掘られた溝など、近年の擾乱による穴や溝が大半を占め、遺物が混入しているが遺構と認識できるものは少ない。

**SK16(第5図 図版3)** 土坑は昭和62年の試掘調査(塚越貝坪遺跡A地区)で確認されていた遺構である。調査区西側のX2・3 Y53・54区に位置する。長軸1.74m、短軸0.72m、深さ0.28mの隅丸長方形の土坑である。覆土は木炭細片の混じる灰色土で、遺物が遺構検出面から中ほどの深さに土師器の壺・壺・高杯・鉢片が投棄された状態で出土している。

**SK81(第5図)** 土坑はSK16の北側に近接したX3 Y53区に位置する。長軸0.60m、短軸0.30m、深さ0.28mの楕円形の土坑である。覆土は黄褐色の地山ブロックと木炭が混在する黒色土である。遺物はSK16の混入と考えられる土師器の高杯が出土している。

**SP32・82・85(第5図)** 土層を図示したが擾乱と考えられる。

**遺物(第6図)** 出土遺物は古墳時代の土師器、古代の須恵器、近世以降の陶磁器がある。また、表探遺物に中世の珠洲や近世以降の陶器がある。このうち土坑(SK16)から一括して出土した土師器が遺構に伴う遺物である。

**古墳時代の遺物(第6図 1~16)** 1~16はSK16から出土の古式土師器で、16はSK87からの出土である。1~3は高杯で、1は杯部下端に屈曲を意識した部分をとどめ、杯部が内湾せずひらくことから杯とした。2は杯部下部で強く屈曲し外にひらく。4~9・15は「く」の字口縁寛で8と15は球形の体部をもつ。11は有孔鉢。12~14は壺。16は高杯脚部で外面にヘラミガキを施す。

遺物の帰属時期は当町HS-04遺跡の溝(SD290)や越中町南部I遺跡の住居(SI01)の土器に類似するものが見られ、高島式の4世紀前半頃と考えられる。

**奈良時代の遺物(第6図 17・18)** 17・18は耕作土下の2層から出土した須恵器である。17が扁平な摘みのついた杯蓋。18は高台のついたタイプの杯B。

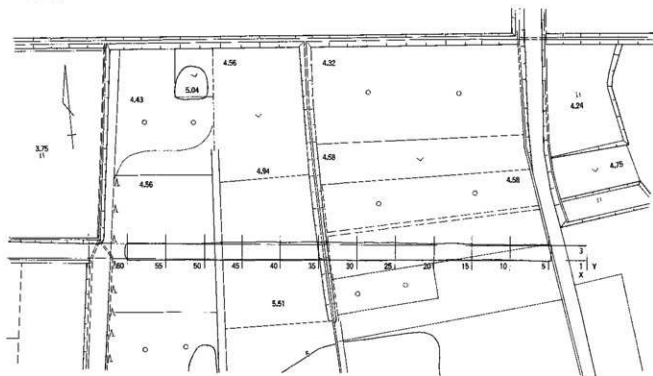
**中世の遺物(第6図 22)** 22は調査区で表探した珠洲である。壺の底部で底面に静止糸切り痕を残す。

**近世以降の遺物(第6図 19~21)** 19・20は耕作土下の2層からの出土で、21は表探遺物である。19は肥前系の碗。20は青色の染付を施した碗。21は底面を除く内外面に鉄釉を施す小型壺。

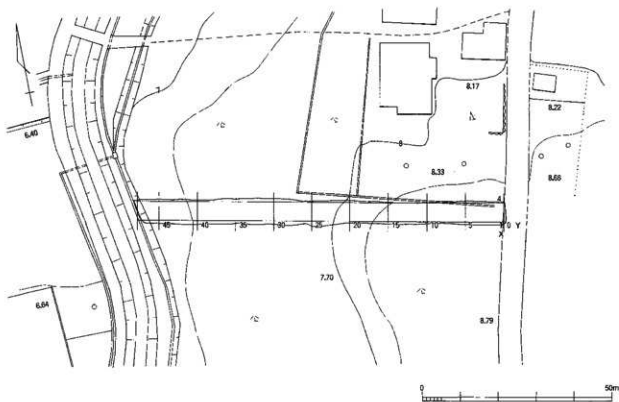
まとめ

北地区で検出した明確な遺構は、古墳時代前期にあたるSK16の土坑である。この土坑一つから遺跡の性格をとらえることは難しいが、土器が一括して投棄されていることから近隣に同時期の集落跡の存在が窺える。しかし、昭和62年から数次にわたり実施した試掘調査(第2図)の結果を考慮すると、調査区を含めた丘陵端部の台地上に立地するとしてもあまり規模の大きくない集落が点在することが想定される。今後の周辺での調査による資料の増加を持って再検討したい。

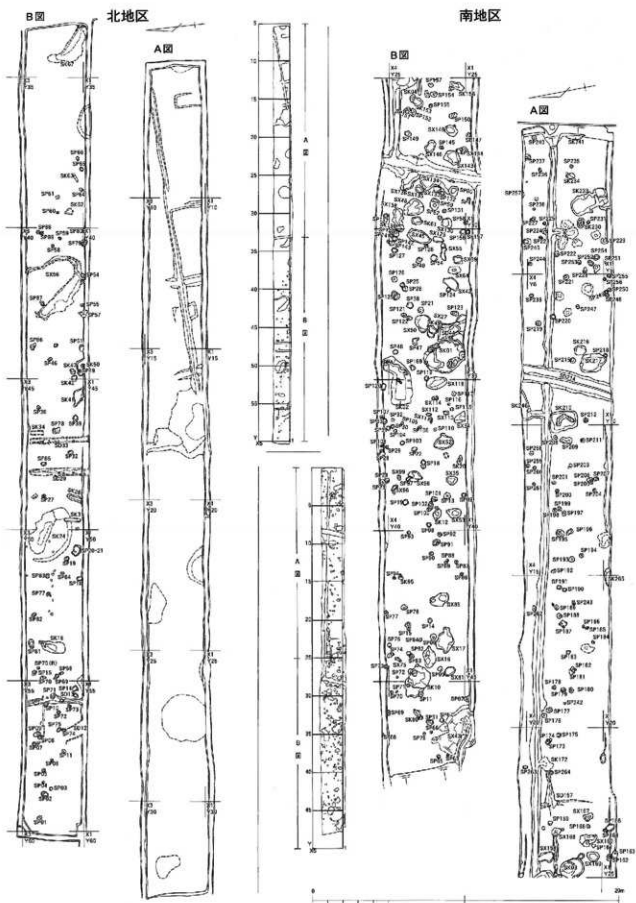
北地区



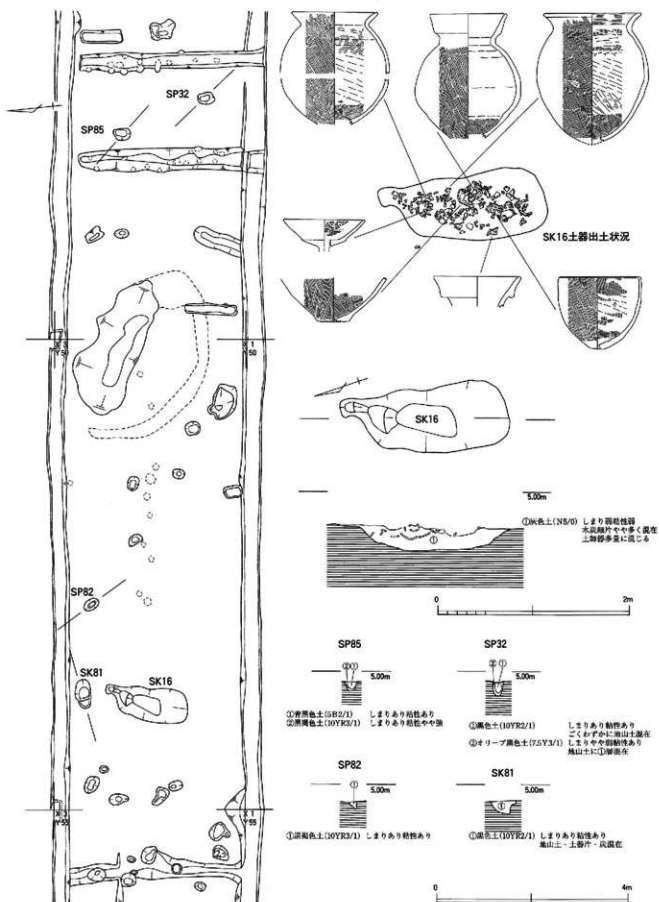
南地区



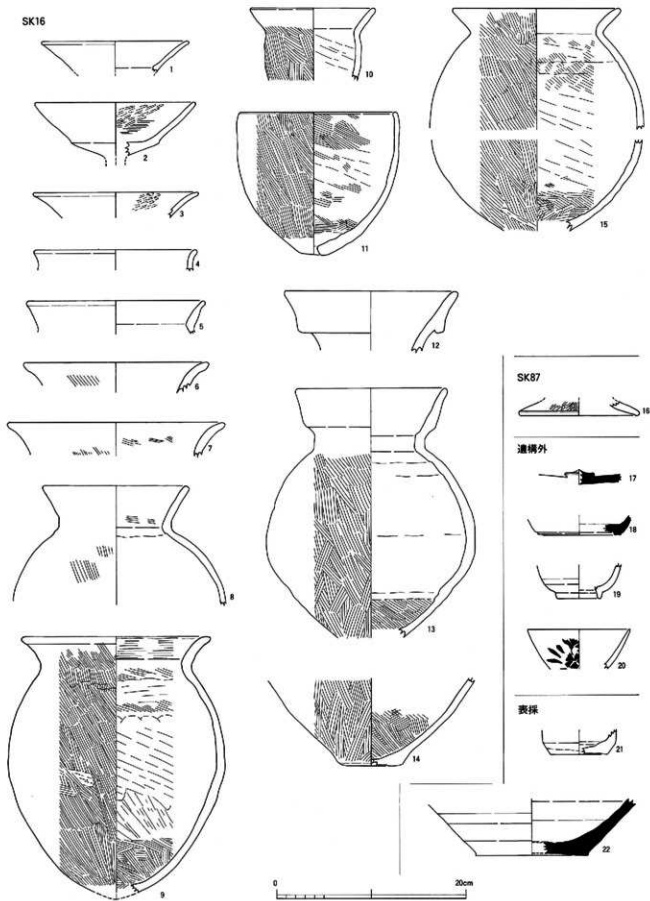
第3図 塚越貝坪遺跡 地形と発掘区劃切



第4图 塚越貝坪遺跡北地区・南地区遺構配置図



第5図 塚越貝坪遺跡(北地区)遺構図-SK16・81, SP32・82・85-



第6図 塚越貝坪遺跡(北地区)遺物実測図-SK16・87、遺構外の遺物-

## 2. 塚越貝坪遺跡(南地区)

立地と層序(第2・3図) 調査地は北地区から南へ約300mほど離れた標高7.50~8.50mに位置し、調査区西側を流れる妻川を挟んだ水田より約1m高い扇状に開けた台地の先端に立地する。現況は竹林である。基本的な層序は、上部からI層黒褐色の耕作土(15~40cm)、II層灰黄褐色の漸移層(5~15cm)、III層は粘性のあるぶい黄褐色の地山で、北地区よりI層の堆積が多い。

遺構(第4図) 南地区で検出した遺構は、縄文時代の土坑2基、小土坑4基、古代の土坑6基、溝2条、掘立柱建物の柱穴と考えられるピットを多数検出した。また古代の掘立柱建物については、現地及び図面上でのピットの位置関係から復元を試みたが、調査区内で建物を復元するには至らなかった。以下時代ごとに遺構の概略を記載する。

### 縄文時代

SK02(第8図 図版6) 土坑はX3・4Y35・36区に位置する。長さ3.30m、幅1.40m、深さ0.30mの長方形で東端で北側に向がり調査区外へ続く。覆土は炭化物が混在する黒褐色土である。遺物は土坑底面付近から縄文土器と黒曜石の剥離片、遺構検出面から須恵器と古代土師器の出土がある。

SK139(第4図) 土坑はX4Y30・31区に位置する。長軸0.54m、短軸0.38m、深さ0.20mの楕円形の土坑である。覆土は黒色土で、縄文土器が出土している。

SP13(第4図) X2Y39区に位置し、長軸0.46m、短軸0.40m、深さ0.24mの楕円形の土坑である。黒褐色覆土から縄文土器が出土している。

SP15(第4図) X3Y44区に位置し、長軸0.56m、短軸0.40m、深さ0.16mの楕円形の土坑である。下層覆土の炭化物混じり黒色土から縄文土器が出土している。

SP41(第4図) X1Y30区に位置し、長軸0.22m、短軸0.16m、深さ0.10mの楕円形の土坑である。下層覆土の黒褐色土から縄文土器が出土している。

SP151(第4図) X3Y26・27区に位置し、長軸0.44m、短軸0.30m、深さ0.36mの楕円形の土坑である。黒褐色の覆土から縄文土器が出土している。

### 古代

SK01(第7図 図版5) 土坑はX2・3Y34・35区に位置する。長軸2.70m、短軸2.20m、深さ0.40mの楕円形の土坑である。黒色土の覆土からは須恵器の杯蓋・杯・火鉢と土師器の甕や小型壺と使用痕のある石が出土している。

SK03(第7図 図版6) 土坑はX2・3Y25区に位置する。長軸1.64m、短軸1.20m、深さ0.44mの楕円形の土坑である。遺構検出面と同レベルの黒色土の覆土からは、須恵器の杯蓋・杯と土師器の甕とフイゴの羽口が出土している。また、底面付近の黒褐色土から須恵器の壺や土師器の甕・壺の出土が見られる。

SK04(第8図 図版6) 土坑はX3・4Y25・26区に位置する。長軸1.40m、短軸1.00m、深さ0.60mの隅丸長方形の土坑である。黒色土の覆土上層からは縄文土器の深鉢、底面付近の下層から須恵器の杯蓋と土師器の甕の出土がある。

SK210(第8図 図版7) 土坑はX2・3Y10・11区に位置する。長軸1.74m、短軸1.40m、深さ0.54mの長方形の土坑である。覆土は黒色土で須恵器の杯蓋が出土している。

SK217(第8図) 土坑はX1・2Y8・9区に位置する。長軸1.78m、短軸1.16m、深さ0.18mの長方形の土坑である。覆土は黒色土で須恵器の杯蓋が出土している。

SK233(第8図 図版7) 土坑はX1~3Y3区に位置する。長軸2.50m、短軸1.28m、深さ0.38mの隅丸長方形の土坑である。覆土は黒褐色土で須恵器の杯蓋・甕が出土している。

SK246(第8図 図版7) 土坑はX4Y9・10区に位置し、北側は調査区外へ広がる。長軸2.00m、深さ0.35mの長方形の土坑である。覆土は上層を庭木の根さままで攪乱を受けるが黒褐色土で、須恵器の甕と土師器の甕が出土している。

SD44(第7図) 溝はX2 Y34区に位置し、南北方向に走り南側が調査区外へ延びる。規模は幅0.70m、深さ0.42mである。覆土は黒色土で、縄文土器の深鉢と須恵器の杯が出土している。

SD214(第7図 図版6) 溝はX1~4 Y9~10区に位置し、南北方向に走り両端が調査区外へ続く。規模は幅1.28m、深さ0.40mである。覆土は黒色土で、須恵器の杯蓋・杯・甕と土師器の甕や鉄滓が出土している。

遺物 出土遺物は、縄文土器・石器、古代の須恵器・土師器・フイゴの羽目・鉄滓、近世以降の陶器がある。

縄文時代の遺物(第9図 1~7、第11図 50~52・55・56・58・59・86~97、第12図 98~109)

遺物は調査区の西側よりで散発的に少量が出土し、遺構に伴うものは少ない。1~7はSK02、50~52はSK139、86~90・96・97はSP13・15・41・43・151、98~109は表土下の2層からの出土である。

1・2・58・86・87・96は深鉢の口縁上部で半截竹管で施文する。6・56・104は深鉢の底部に網代の圧痕が付く。7は黒曜石の剥離片、109は丁寧に仕上げられた磨製石斧の刃先部分である。遺構の帰属時期は新縄文時代中期前葉と考えられる。

#### 古代の遺物

SK03(第9図 11~33) 10~17・30・31は須恵器である。10・11が杯蓋、12~15が高台の付かないタイプの杯A、16・17は高台付きの杯Bで、17は底面に同軸ヘラ切り痕を残す。30は甕、31が壺で体部内面に同心円文の叩き目、外面に平行線の叩き目が残る。18~29は土師器で、18~23は甕の口縁部、29は体部下半部である。24~28は壺で体部または底部である。32・33はフイゴの羽目の製鉄炉体に挿入される先端部分で、砂鉄を溶解したときのガラス質状のスラッグが付着する。遺物の帰属時期は8世紀第2四半期頃と考えられる。

SK01(第10図 34~40) 34~40は須恵器である。34~36が杯蓋。37~39は杯で、39の高台の付いた杯Bは、口径15.2cm、器高6.4cmの大型で、外面にヘラ記号を施す。40は最大口径79.3cmの大型の甕で体部内面に同心円文の叩き目、外面に平行線の叩き目が残る。41~46は土師器で、41・47・48は壺。42~46は甕である。49はSK01の底面から出土した石で、上面にわずかな凹みが見られ、加工を施す台に用いられたと考えられる。遺物の帰属時期はSK03と同じ時期である。

SK04(第11図 60・61~65) 60は須恵器の杯蓋。61~65は土師器で、61が壺、62~65が甕である。

SK210(第11図 66) 66は須恵器の杯蓋。

SK217(第11図 69・70) 69・70は須恵器で、69が杯蓋、70が甕の胴部。

SK233(第11図 53・54) 53・54は土師器の甕である。53は体部外面をヘラケズリ調整する。

SK246(第11図 67・68) 67は土師器の甕の体部。70は須恵器の甕の体部片。

SD214(第11図 71~85) 71~79・84は須恵器である。71~73は杯蓋、74~79は杯、84は甕。80~83は土師器である。85は鉄滓が付着した製鉄炉の炉壁である。遺物の帰属時期はSK03・01より新しい8世紀後半頃である。

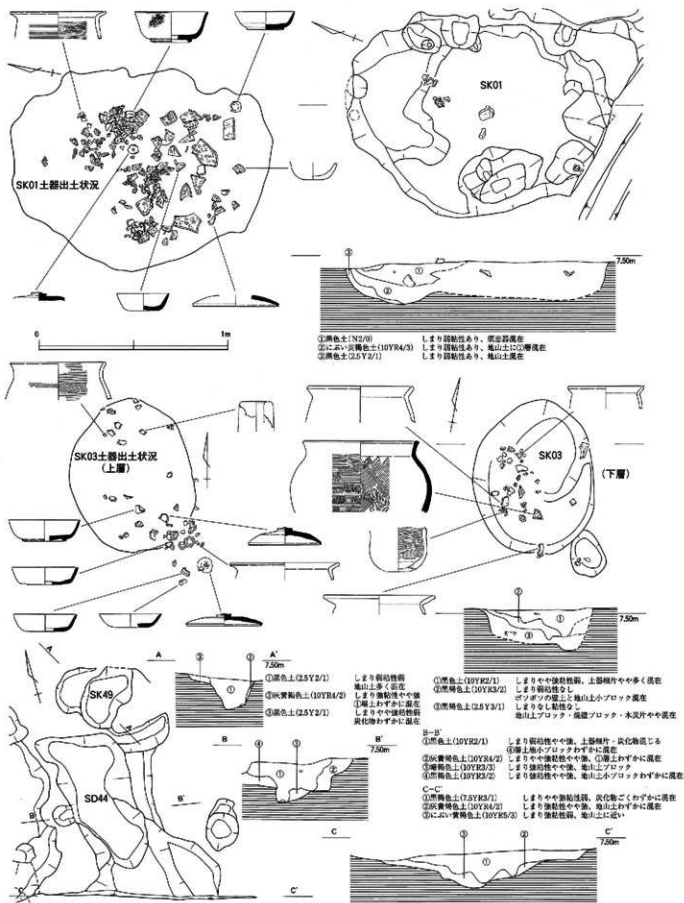
SP(第11図 91~95) 91はSP245から出土の土師器で、甕の口縁部。92~95は須恵器で、92がSP142、93はSP09、94がSP237から出土の杯である。94は高台の付いた底径8.9cmとやや大型の杯である。95は大甕の口縁部で、上部に波状文を施す。

遺構外(第12図 110~120) 110~117は須恵器で、111が杯蓋、110・112~114は杯。115は壺の口縁部。116・117が甕である。118~120は土師器の甕の口縁部である。

近世以降の遺物(第12図 121) 121はX1~4 Y28・29区の南北に走る素掘りの排水路から出土した火消である。

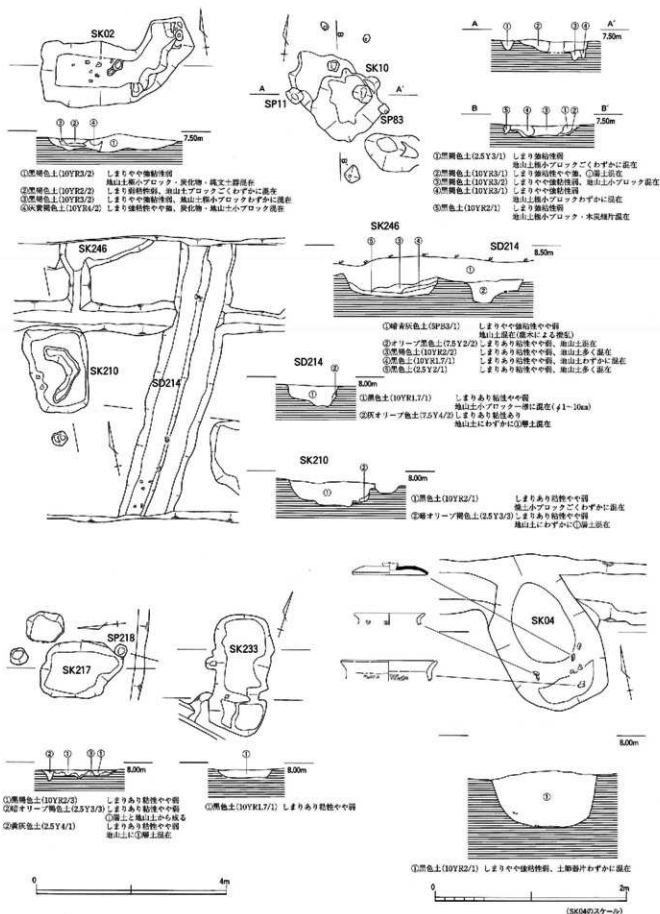
#### まとめ

今回調査を行なった家越貝坪遺跡南地区は、縄文時代中期前葉、奈良時代の複合遺跡である。縄文時代の遺構は土坑や小土坑が確認されており、近隣に住居跡などの存在が想定される。奈良時代については、多量の土器が破壊された土坑や掘立柱建物の柱穴が確認されており、調査区を含めたこの台地上一帯に規模の大きな集落が存在すると考えられる。また、土器のほかに出土している鉄滓やフイゴの羽目から製鉄に関連した工人集落の可能性が高い。

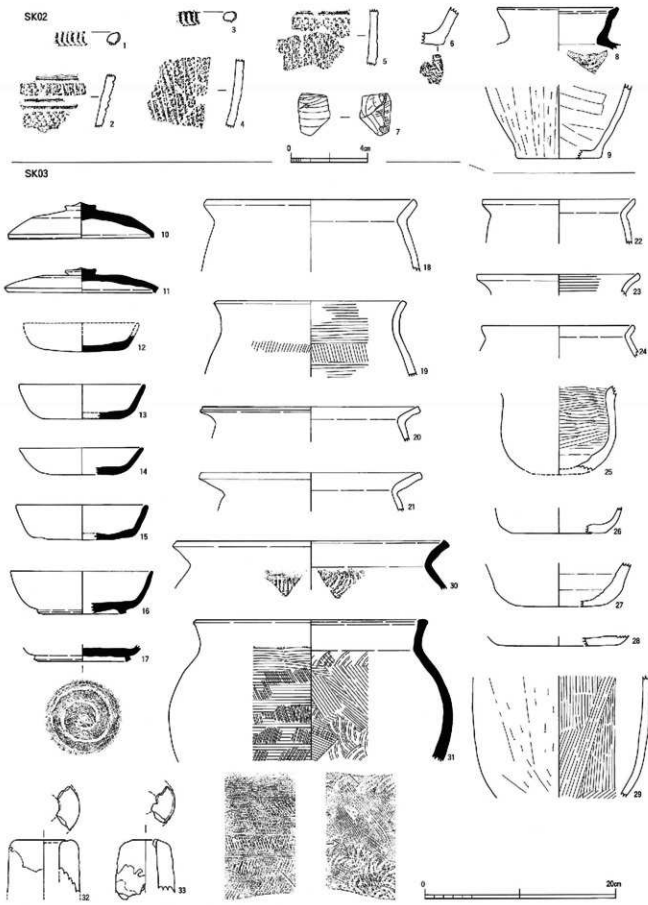


第7図 塚越貝坪遺跡(南地区)遺構図-SK01・03・49, SD44-

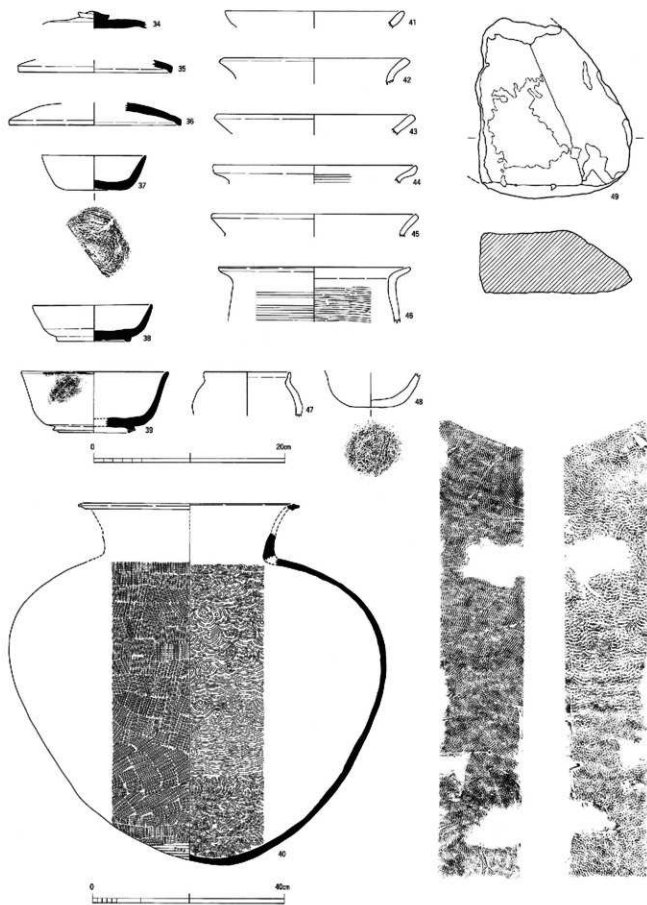


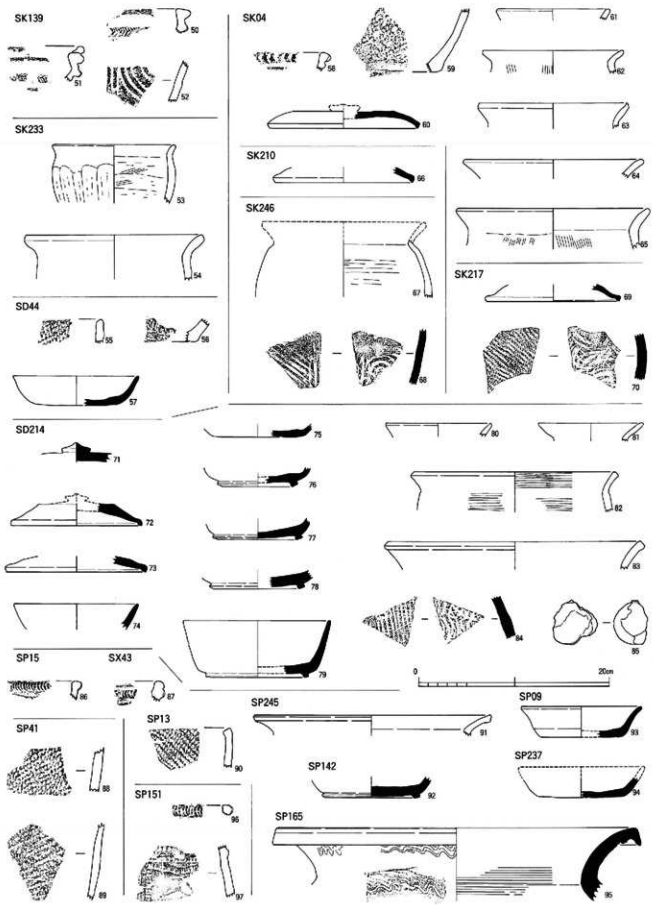


第8図 塚越貝坪遺跡(南地区)遺構図—SK02・04・10・210・217・233・246, SD214—

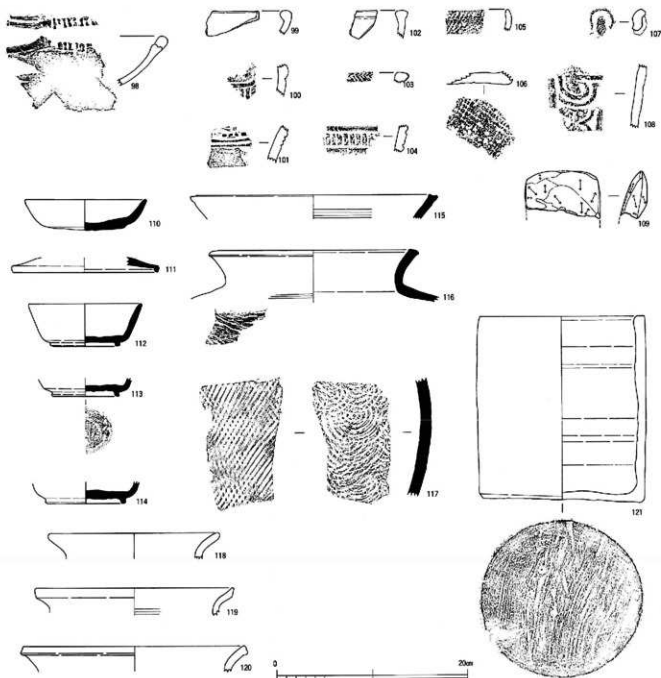


第9图 塚越貝坪遺跡(南地区)遺物実測図—SK02・03—





第11图 塚越貝坪遺跡(南地区)遺物実測図—SK, SD, SP—



第12図 塚越貝坪遺跡(南地区)遺物実測図-遺構外の遺物-

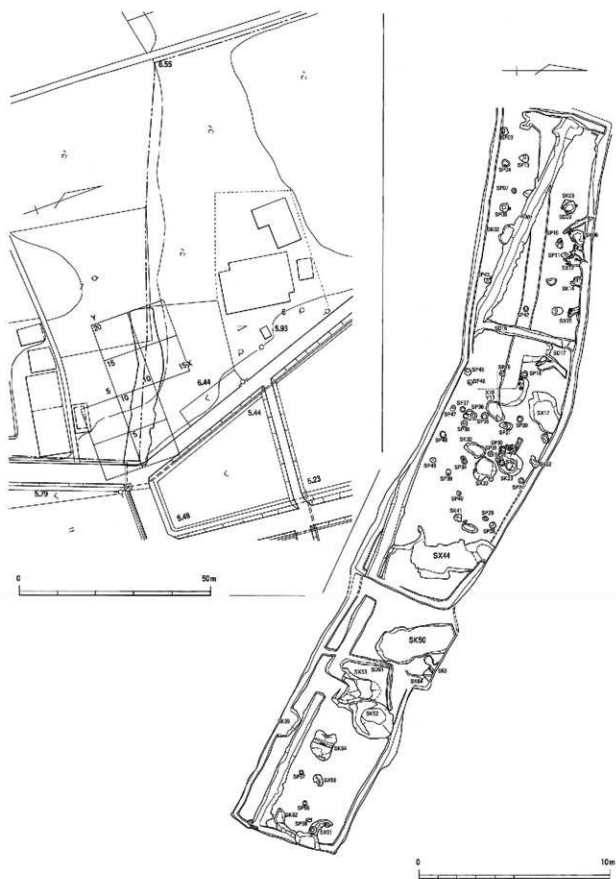
### 3. 畑総No15遺跡

**立地と層序(第2・第13図)** 調査地は標高6.50m前後の扇状につき出す台地の端部に立地し、梨畑及び畑地として利用されている。調査区東側の一段低くなった水田との比高差は0.70mほどあり、塚越貝坪遺跡北地区からは南東約300mほど離れた位置である。基本的な層序は、上部からI層黒褐色の耕作土(30~60cm)、II層灰黄褐色の漸移層(0~10cm)、III層は粘性のある暗灰黄色の地山となる。

**遺構(第13図)** 畑総No15遺跡で検出した遺構は、古墳時代の土坑2基、飛鳥時代の土坑2基、古代の炭焼窯1基・土坑1基、中世の溝1条である。

#### 古墳時代

**SK05(第13図)** 土坑はX13 Y18区に位置する。規模は長軸0.82m、短軸0.64m、深さ0.28mの楕円形の土坑で



第13図 畑総No.15遺跡 地形と発掘区割り、遺構配置図

ある。覆土は黒色土で、土師器の甍が出土する。

SK44(第13・16回) 土坑はX9・11Y8・9区に位置する。遺構配置図に示した破線から南側は、昭和初期頃の家庭取り壊し時に屋根瓦を埋めた土坑跡で、遺構は発掘区北壁寄りの一部で確認され、調査区外に広がる楕円形の土坑と考えられる(第16回)。遺構に伴う遺物は古式土師器の甍である。

#### 飛鳥時代

SK02(第15回 図版9) 土坑はX11Y17区に位置する。北側半分はSD01の溝に切られ遺存しない。規模は長軸1.12m、深さ0.28mの楕円形と考えられる。覆土は②～④層で③④層中に灰が混じり、④層には茶褐色の焼土状のブロックが混在していた。遺物は須恵器の杯、土師器の杯・甍・壺が出土する。

SK32(第15回 図版9) 土坑はX10・11Y11・12区に位置する。規模は長軸1.14m、短軸0.60m、深さ0.20mの長方形の土坑である。覆土は黒色土で、底面付近にはSK02に似る茶褐色の焼土状のブロックが混在している。遺物は須恵器の杯蓋、土師器の甍、甌または鉢の把手が出土している。

#### 古代

SK52(第15回 図版11) 土坑はX7・8Y4・5区に位置する。長さ2.60m、幅2.00m、深さ0.44mの楕円形の土坑である。覆土は炭化物が混在する黒色及び黒褐色土である。遺物は①層の黒色土と②層の黒褐色土から古式土師器の壺と甍、底面付近から鉄滓1点が出土している。

SX53(第15回 図版11) 土坑はX7・8Y5区に位置する。長さ2.20m、幅1.36m、深さ0.62mの不定形な土坑である。覆土は黒色及び黒褐色土である。遺物は須恵器の甍・横瓶が出土している。

S63(第16回 図版11) 炭焼窯はX9・10Y6区に位置し、奥壁と煙出しの一部が検出されている。窯体と前庭部は調査区外の北側へ続く。奥壁部分の床面幅は、煙出しが窯体主軸上にあり、側壁が左右対称の位置にあると仮定すると1.20～1.30mとなる。側壁は明確には遺存していないが、南側壁の一部が床面から15cmほど立ち上がる。壁面は焼土化していない。煙出しは底面の長軸0.45m、短軸0.35mの楕円形である。煙吸込み口の両端に拳大の補強用礫を置く。奥壁床面から延びる排水溝は窪んだ部分を検出しているが、判然としなかった。遺物は煙出しから鉄滓と支脚が各1点出土している。

SD51(第16回) 溝はX7・8Y4・5区に位置する。規模は長さ6.60m、幅0.40m、深さ0.60mの「L」字状に曲がり、南端は調査区外へ続く。SD01との切り合い関係からSD51が古い溝となる。出土遺物はない。

#### 中世

SD01(第16回) 溝はX5～13Y1～20区に位置する。規模は現長39.80m、幅0.40m、深さ0.40mで、東西にまっすぐ延び、両端が調査区外に続く。遺物は須恵器の高杯・横瓶、土師器の高杯・鍋または鉢の把手、珠洲の甍がある。

遺物(第17・18回) 出土遺物は、弥生土器、古墳時代の古式土師器、古代の須恵器・土師器・鉄滓・支脚、中世の陶器、近世以降の陶器・磁器がある。以下時代・遺構ごとに説明する。

#### 弥生時代の遺物(第18回 30・47・49・50・58・59)

遺物は表土下の2層から出土の弥生土器である。30は高杯、また47は器台の杯部でスタンプ文で加飾する。49・50は高杯の杯部で58・59は高杯の脚部。遺物の帰属時期は弥生時代後期後半頃と考えられる。

#### 古墳時代の遺物(第17回 7～12・第18回 31・43～46)

遺物は7～12がSK52から、31・43～46は表土下の2層から出土の古式土師器である。7・9～12は甍。8が鉢または高杯の口縁部である。31・43～45は「く」の字口縁甍で、31がSX44の擾乱の影響を受けない箇所からの出土である。遺物の帰属時期は北地区のSK16とほぼ同時期の4世紀代と考えられる。

#### 飛鳥時代の遺物

遺物はSK02、SK32とSD01及びSX53への混入品と考えられる須恵器と土師器がある。

SK02(第17回 1～5) 1・3～5は土師器である。1は内面黒色処理を行なった内黒土器の碗。3・4は小型甍の口縁部。5は中型甍である。2は須恵器の杯で、底部をヘラ切り後、櫛状工具で一方の調整を施す。

SK32(第17図 13~17) 13は須恵器の杯蓋で天井頂部をへら切り後、かるくナデを施す。14~17は土師器で、14が把手付き鉢または椀、15~17が甕である。

SD01・SX53(第17図 19・20・27~29) 19・20・28・29は須恵器である。19は高杯の杯部、20・29が横瓶の胴部、28が甕の口縁部である。27は土師器甕の口縁部である。遺物の帰属時期は小杉流用No7遺跡竈跡と同時期の7世紀初頭頃と考えられる。

#### 古代の遺物～近世以降の遺物(第17・18図)

25・26はS63炭焼窯から出土し、25が鉄滓、26がカマドの支脚である。30・32~42はSX42の近代の瓦が投棄されていた土坑から一緒に出土している。32~34は珠洲の甕。38は中世土師器の皿。37は肥前系の碗、39は瀬戸の碗でその他は近世以降の陶磁器である。

51~62は表土下の2層出土の遺物である。53・54は須恵器の横瓶で、53が口縁部である。56・57は鉄滓。51・60は土師質土器で、51が甕、60が15世紀代の小皿である。

#### まとめ

今回調査を実施した畑No15遺跡は古墳時代から中世にかけての複合遺跡である。

古墳時代の土坑(SK05・SX44)からは4世紀代の遺物が出土しており、塚越貝坪遺跡北地区のSK16とはほぼ同時期である。立地についても平野に接する台地の縁辺部と共通する点が見られ、平野に突き出たこの台地上に集落の中心が存在すると想定される。

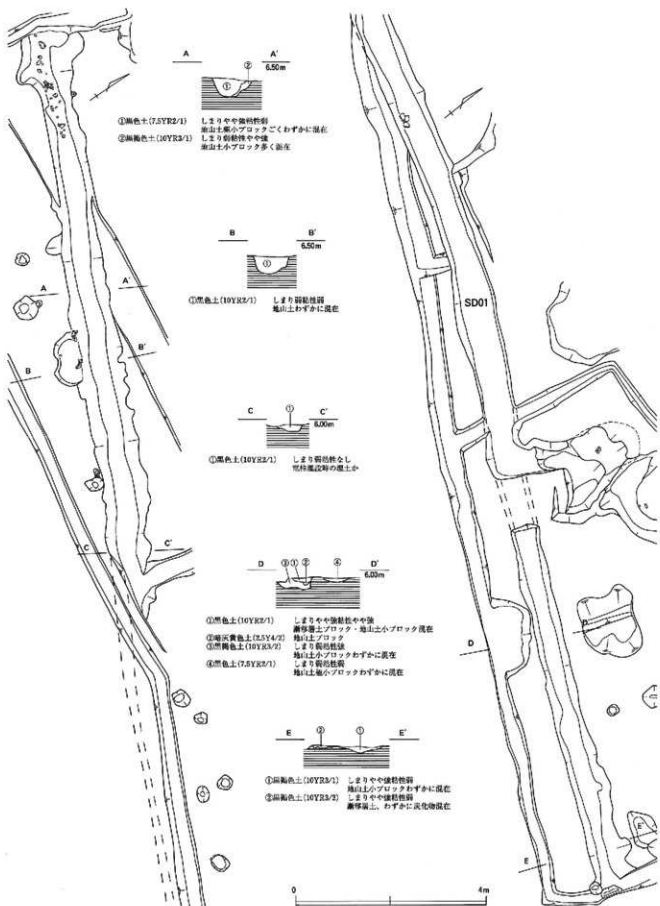
飛鳥時代の遺構は食器などの土器が出土した土坑2基などがあり、SK32の南側に1.8~2.0mの間隔で一直線上に並ぶ柱穴状土坑(SP45・47~49)4基なども見つかったが、発掘区内で住居跡などは確認できなかった。

古代の炭焼窯(S-63)は射水丘陵に多く見られる製鉄遺構である。鉄の生産時に大量に必要とする木炭を作るための窯で、これまでの調査例から1基の箱形製鉄炉にたいしておよそ3~4基の炭焼窯が必要とされている。このため今回の調査区周辺に製鉄炉と数基炭焼窯の存在が推察される。また、S-63の東側に位置する製練滓の出土したSK52やSX53は、窯構築または補修時の採土穴などの用途も考えられる。今後の周辺の調査資料の増加を待って検討を加えたい。

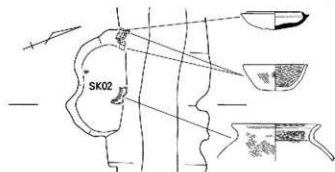
#### 参 考 文 献

- イ 池野正男1991「X調査の結果」遺構(4)炭焼窯 2遺物(1)7世紀第1四半期の須恵器 (2)8世紀中頃から後半代の須恵器・土師器【上野南遺跡群発掘調査報告】小杉町教育委員会
- ウ 上野章1982「No7遺跡須恵器竈跡について」【富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第3・4次緊急発掘調査概要】富山県教育委員会
- 上野章1986「(3)遺物」【富山県小杉町・大門町小杉流通業務団地内遺跡群第8次緊急発掘調査概要小杉丸山遺跡】富山県教育委員会
- 上野章1990「土器の時期について」【井口城跡発掘調査概要】富山県井口村教育委員会
- カ 加藤三千雄1988「新保・新崎式土器様式」『縄文土器大観 3 中期Ⅱ』小学館
- ク 久々忠義1997「第三章第一節射水の古代遺跡」【小杉町史 通史編】小杉町役場
- 久々忠義1999「古墳出現期の土器について」【富山平野の出現期古墳】富山考古学会
- コ 小杉町1959【小杉町史】
- 小杉町教育委員会1989「富山県小杉町草山B遺跡発掘調査概要」
- 小杉町教育委員会1987「富山県小杉町北野遺跡・権上遺跡緊急発掘調査概要」
- 小杉町教育委員会1989「塚越貝坪遺跡・塚越大沢Ⅱ遺跡発掘調査概要」
- 小杉町教育委員会1999「HS-04遺跡発掘調査報告」
- ク 田嶋明人1996「北陸地方の古墳時代の土器」『日本土器辞典』雄山閣
- ホ 堀内大介2000「SI01出土土器について」【富山県中町南部Ⅰ遺跡発掘調査報告Ⅱ】中町教育委員会
- ニ 富田浩一1988「小杉町の製鉄関連遺跡」【権上遺跡・塚越貝坪遺跡発掘調査概要】小杉町教育委員会

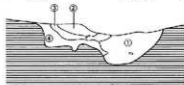




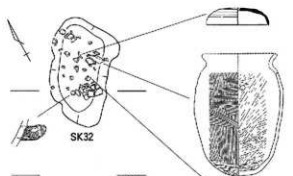
第14図 畑総No.15遺跡 遺構図—SD01—



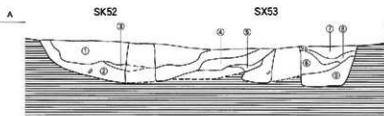
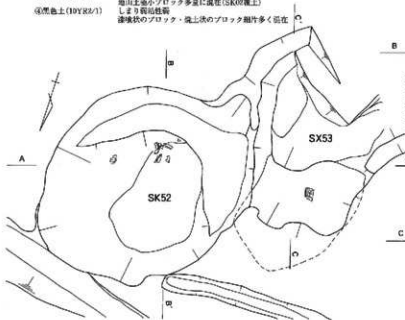
SK02 (SD01)



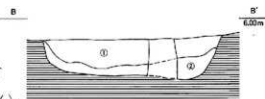
- ①黒色土(10YR2/1) しまりやや強粘りやや塊、地山上小ブロックわずかに存在(SD01層上)
- ②黒褐色土(10YR2/1) しまり弱粘り塊
- ③赤色土(N2/0) 地山上小ブロック・土器細片ごくわずかに存在(SK02層上)
- ④赤色土(N2/0) 地山上小ブロック多量に存在(SK02層上)
- ⑤黒色土(10YR2/1) しまり弱粘り塊



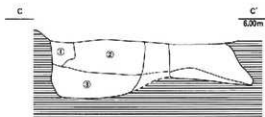
- ①黒色土(10YR2/1) しまりやや強粘り塊
- ②黒褐色土(10YR2/1) わずかに地山上ブロック存在
- ③黒土多く存在



- ①黒色土(10YR2/1) しまり弱粘りやや塊、地山上小ブロック・土器細片ごくわずかに存在
- ②黒褐色土(10YR2/1) しまりやや強粘りやや塊、地山上小ブロックや多く存在
- ③赤色土(10YR2/1) しまりやや強粘りやや塊、地山上小ブロック多量に存在
- ④赤色土(10YR2/1) しまり強粘り塊、地山上小ブロック、炭化物塊やや多く存在
- ⑤灰褐色土(10YR4/1) しまり弱粘り塊、砂質土、SX53部の産産土に入る
- ⑥赤色土(10YR2/1) しまりやや強粘り塊、地山上わずかに存在、土器片・炭化物塊も
- ⑦赤褐色土(10YR2/1) しまり強粘りやや塊、地山上小ブロックごくわずかに存在
- ⑧黒褐色土(10YR2/1) しまり強粘りやや塊、地山上小ブロック・土器細片多量に存在
- ⑨暗灰黄色土(10YR7/2) しまり強粘りやや塊、砂質土含む地山

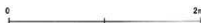


- ①黒色土(10YR2/1) しまり弱粘りやや塊
- ②黒褐色土(10YR2/1) 地山上小ブロック・土器細片ごくわずかに存在
- ③黒褐色土(10YR2/1) しまりやや強粘りやや塊

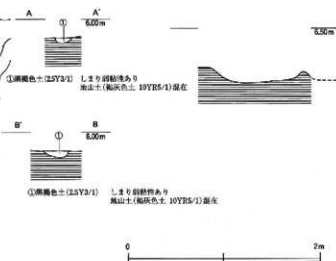
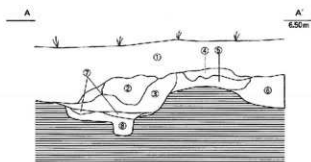
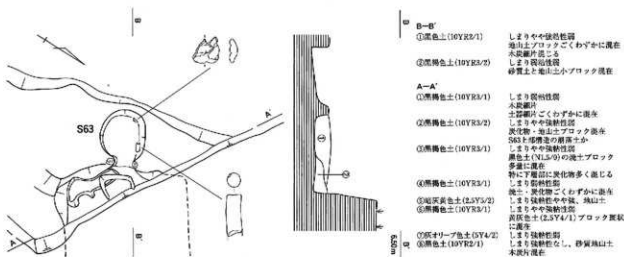


- ①黒色土(10YR2/1) しまりやや強粘りやや塊
- ②黒褐色土(10YR2/1) 地山上小ブロックわずかに存在
- ③暗灰黄色土(10YR7/2) しまり弱粘りやや塊

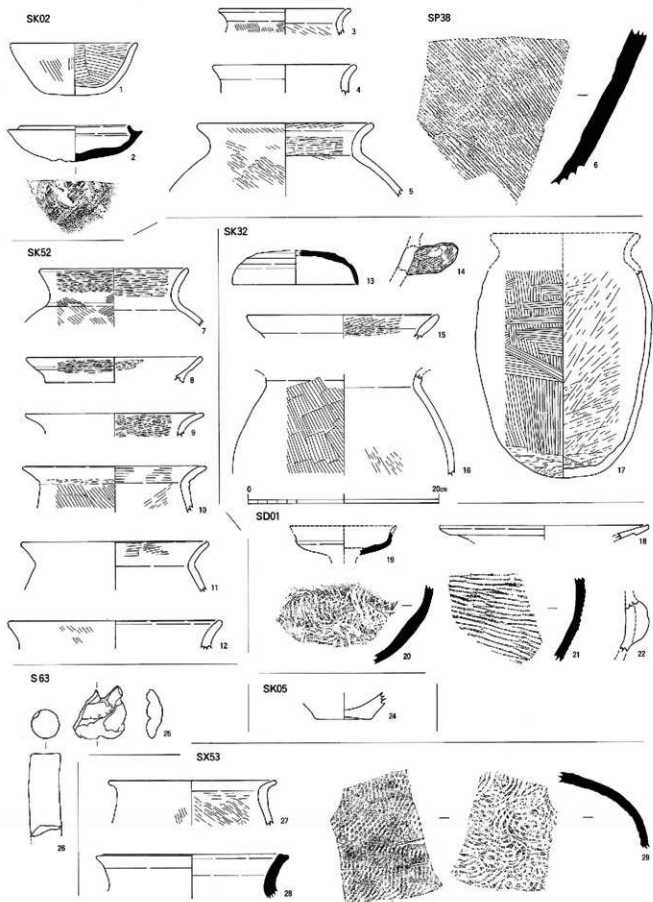
地山の積層と砂質土混じる  
わずかに②層土存在



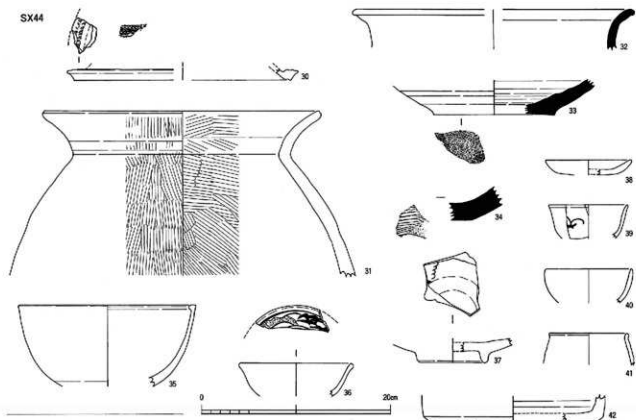
第15図 畑No.15遺跡 遺構図—SK02・32・52, SX53—



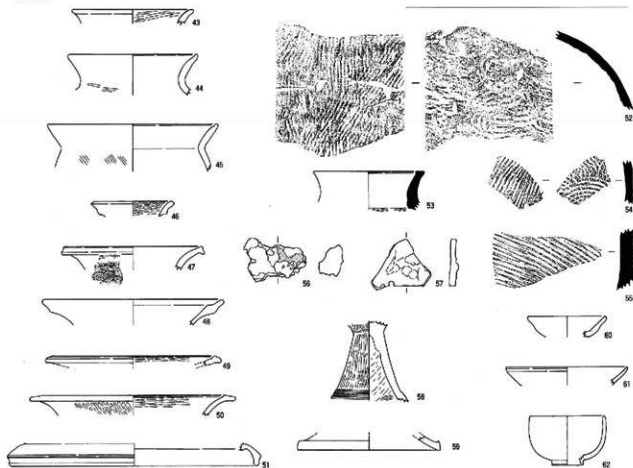
第16図 畑総No.15遺跡 遺構図—S63, SD51, SX44—



第17図 畑総No.15遺跡 遺物実測図—遺構内の出土遺物—



遺構外



第18図 畑総No15遺跡 遺物実測図-SX44、遺構外の遺物-

表2 塚越貝冢遺跡(北地区) 遺構一覽

棟 号	四 版	遺構番号	出 土 区	規模:長	規模:短	規模:深	出 土 遺 物	備 考
第4区		SP01	X3 Y59	0.32	0.24	0.16		
第4区		SP02	X3 Y58	0.50	0.32	0.04		
第4区		SP03	X3 Y58	φ0.22		0.08		
第4区		SP04	X3 Y58	0.20	0.18	0.08		検瓦
第4区		SP05	X3 Y57	φ0.24		0.10		
第4区		SP06	X3 Y57	φ0.18		0.12		検瓦
第4区		SP07	X3 Y57	0.50	0.22	0.12		
第4区		SP08	X3 Y56	0.30	0.20	0.18		
第4区		SP09	X3 Y56	0.50	0.28	0.24		
第4区		SP10	X3 Y55	0.30	0.30	0.20		
第4区		SP11	X2 Y57	0.28	0.22	0.18		
第4区		SD12	X2 Y56	(1.18)	0.80	0.20		
第4区		SD13	X2-3 Y55	(3.60)	0.41	0.10		新
第4区		SP14	X2 Y55	0.46	0.30	0.12		
第4区		SP15	X3 Y54	0.38	0.26	0.14		
第5区	四版3	SK16	X2-3 Y53-54	1.74	0.72	0.28	古式土師器(甕)	
第4区		SP17						検瓦
第4区		SP18	X2 Y51	0.40	0.24	0.12		検瓦
第4区		SP19	X2 Y50	0.32	0.28	0.16		
第4区		SP20	X2 Y50	0.76	0.50	0.16		
第4区		SK21						検瓦
第4区		SP22						
第4区		SK23						検瓦
第4区		SK24	X2-3 Y49-50	(3.90)	(2.60)	0.42		風割木板
第4区		SP25						検瓦
第4区		SP26	X3 Y48	0.38	0.24			検瓦
第4区		SP27	X3 Y48	0.30	0.20	0.18		
第4区		SK28	X2 Y48-49	(1.00)	0.36	0.06		検瓦
第4区		SD29	X1-3 Y47-48	(3.90)	0.50	0.16		検瓦
第4区		SP30						検瓦
第4区		SK31	X2 Y49	1.08	0.24	0.04		検瓦
第5区		SP32	X2 Y47	0.34	0.24	0.30		
第4区		SD33	X1-3 Y46-47	(3.84)	0.32	0.18		
第4区		SK34	X3 Y46	0.88	0.28	0.44		検瓦
第4区		SP35						検瓦
第4区		SP36						検瓦
第4区		SP37						検瓦
第4区		SP38	X3 Y45	0.24	0.24	0.16		
第4区		SK39	X2 Y46	0.36	0.34	0.20		
第4区		SP40						検瓦
第4区		SK41	X2 Y45	1.40	0.70	0.10		
第4区		SP42	X2 Y44-45	0.36	0.32	0.06		
第4区		SP43						検瓦
第4区		SP44						検瓦
第4区		SP45						検瓦
第4区		SP46	X3 Y44	0.36	0.20	0.16		
第4区		SK47	X2 Y44	0.40	0.26	0.22		

坪 団	図 版	遺構番号	出 土 区	規模:長	規模:短	規模:深	出 土 遺 物	備 考
第4団		SP48						攪乱
第4団		SP49	X2 Y44	0.20	0.20	0.10		消失
第4団		SK50	X1-2 Y44			0.20		
第4団		SK51	X2 Y43~44	0.42	0.28	0.14		
第4団		SP52						攪乱
第4団		SP53						攪乱
第4団		SP54	X1-2 Y41	0.34	0.24	0.18		
第4団		SP55	X2 Y42	0.30	0.18	0.10		攪乱風割木痕
第4団		SX56	X2-3 Y41-42	(4.44)	(3.64)			攪乱風割木痕
第4団		SP57	X1-2 Y42	0.52	0.48	0.34		攪乱
第4団		SP58	X2-3 Y40	0.24	0.16	0.12		
第4団		SP59	X2 Y40	0.24	0.14	0.10		
第4団		SP60	X2 Y39	0.20	0.16	0.08		
第4団		SP61	X2 Y38~39	0.26	0.22	0.16		新
第4団		SK62	X2 Y39	0.54	0.42	0.08		攪乱
第4団		SK63	X2 Y38	0.70	0.14	0.20		攪乱
第4団		SP64	X2 Y38	0.38	0.20	0.16		
第4団		SP65	X2 Y38	0.30	0.21	0.28		
第4団		SP66	X2 Y37	0.24	0.18	0.24		
第4団		SK67	X2 Y33~34	3.00	(1.20)	0.38		風割木痕
第4団		SP68	X2 Y54	0.30	0.20	0.08		
第4団		SP69	X2 Y54	0.45	0.28	0.12		
第4団		SP70	X3 Y54	0.40	0.22	0.18		
第4団		SP71	X2-3 Y55	0.40	0.30	0.06		
第4団		SP72	X2 Y55~56	0.24	0.22	0.10		
第4団		SP73	X2 Y55	0.26	0.18	0.08		
第4団		SP74	X2 Y56	0.34	0.22	0.06		
第4団		SP75	X2 Y56	0.34	0.18	0.10		
第4団		SP76						
第4団		SP77	X3 Y52	0.30	0.30	0.12		
第4団		SP78	X2 Y46	0.52	0.34	0.20		
第4団		SP79	X1-2 Y40	0.50	0.26	0.20		
第4団		SP80	X1-2 Y40	0.26	0.22	0.18		
第5団		SK81	X3 Y53	0.60	0.30	0.28	土師器	
第5団		SP82	X3 Y52	0.32	0.20	0.16		
第4団		SP83	X3 Y51	0.30	0.22	0.08		
第4団		SP84	X2 Y51	0.21	0.20	0.08		
第5団		SP85	X3 Y47	0.38	0.24	0.18		
第4団		SP86	X3 Y43~44	0.52	0.30	0.22		
第4団		SP87	X3 Y42	0.34	0.20	0.12	古式土師器	
第4団		SP88	X3 Y40	0.21	0.20	0.16		
第4団		SP89	X3 Y40	0.20	0.20	0.10		
第4団		SP70(B)	X3 Y54	0.20	0.14	0.16		

表3 塚越貝坪遺跡(北地区) 出土遺物一覧

No	団 版	遺構番号	種 類	器 種	口 径	器 高	底 径	備 考
1	6	SK16	古式土師器	高杯	15.3	—	—	
2	6	SK16	古式土師器	高杯	17.0	—	—	

No	図版	遺構番号	種類	器種	口径	器高	底径	備考
3	6	SK16	古式土師器	高杯	17.4	—	—	
4	6	SK16	古式土師器	壺	(16.8)	—	—	
5	6	SK16	古式土師器	壺	(18.6)	—	—	
6	6	SK16	古式土師器	壺	(19.4)	—	—	
7	6	SK16	古式土師器	壺	(22.6)	—	—	
8	6	SK16	古式土師器	壺	15.0	—	—	
9	6	SK16	古式土師器	壺	19.0	(28.0)	—	
10	6	SK16	古式土師器	壺	12.9	—	—	
11	6	SK16	古式土師器	有孔鉢	16.3	15.2	0.9	
12	6	SK16	古式土師器	壺	17.8	—	—	
13	6	SK16	古式土師器	壺	15.4	—	—	
14	6	SK16	古式土師器	壺	—	—	6.5	
15	6	SK16	古式土師器	壺	17.3	—	—	
16	6	SK87	古式土師器	高杯	(12.4)	—	—	
17	6		須恵器	杯蓋	—	—	—	つまみ径2.2cm
18	6	X3Y36	須恵器	杯	—	—	7.6	
19	6	X2Y35	近世陶器	碗	—	—	4.6	
20	6	X2Y18	近世磁器	碗	10.8	—	—	
21	6	表探	近世陶器	壺	—	—	5.9	
22	6	表探	珠州	壺	—	—	11.7	

表4 塚越貝塚遺跡(南地区) 遺構一覧

坪図	図版	遺構番号	出土区	規模:長	規模:短	規模:深	出土遺物	備考
第7図	図版5	SK01	X2-3 Y34-35	(2.70)	2.20	0.40	縄文土師土師器(壺, 蓋), 須恵器(杯, 杯蓋, 大壺)	
第8図	図版6	SK02	X3-4 Y35-36	3.20	1.40	0.30	縄文土師土師器(壺), 須恵器(横板)	
第7図	図版6	SK03	X2-3 Y25	1.64	1.20	0.44	土師器(壺), 須恵器(杯, 杯蓋, 壺), フイゴの口門	
第8図	図版6	SK04	X3-4 Y25-26	(1.40)	1.00	0.60	縄文土師土師器(壺), 須恵器(杯蓋)	
第4図		SP05	X2 Y45	0.36	0.32	0.16		
第4図		SP06	X2-3 Y44	0.46	0.40	0.28		
第4図	図版7	SP07	X1 Y46	0.38	0.34	0.32	須恵器(杯)	
第4図		SP08	X3 Y40	0.34	0.28	0.12		
第4図		SP09	X2 Y39	φ0.30		0.14		
第8図		SK10	X3 Y45-46	2.18	1.50	0.36		
第4図		SP11	X3 Y46	0.34	0.28	0.22		
第4図		SK12	X2 Y40	0.90	0.52	0.20		
第4図		SP13	X2 Y39	0.46	0.40	0.24	縄文土師	
第4図		SP14	X3 Y43-44	φ0.30		0.10		
第4図		SP15	X3 Y44	0.56	0.40	0.16	縄文土師	
第4図		SX16	X2-3 Y44-45	1.44	0.86	0.24		
第4図		SX17	X2 Y44-45	1.76	1.14	0.28		
第4図		SP18	X3 Y38	0.34	0.24	0.12		
第4図		SP19	X3-4 Y40	0.36	0.34	0.10		
第4図		SK20	X2 Y38	0.62	0.28	0.16		
第4図		SP21	X3 Y33	0.38	0.38	0.36		
第4図	図版7	SP22	X3 Y38	0.40	0.20	0.28		
第4図		SP23	X4 Y39	0.36	0.34	0.16		
第4図		SP24	X4 Y39	0.32	0.26	0.18		
第4図		SP25	X4 Y32	0.28	0.26	0.20		



序号	图版	道槽番号	出土区	规格:长	规格:短	规格:深	出土遗物	備考
第4图		SP26	X3~4 Y32~33	0.36	0.32	0.34		
第4图		SP27	X2 Y34	0.60	0.26	0.08		
第4图		SP28	X4 Y38	0.48	0.26	0.28		
第4图		SP29	X4 Y38	0.24	0.22	0.06		
第4图		SP30	X4 Y37	0.28	0.26	0.16		
第4图		SP31	X4 Y37	0.32	0.26	0.14		
第4图		SP32	X4 Y37	0.22	0.20	0.10		
第4图		SP33	X4 Y37	0.38	0.30	0.24		
第4图		SX34	X2 Y37	(0.74)	(0.70)	0.28		
第4图		SX35	X2 Y39	0.72	0.56	0.16		
第4图		SP36						
第4图		SP37						
第4图		SP38	X3 Y33	0.46	0.40	0.16		
第4图		SX39	X2 Y31~32	0.60	0.50	0.12		
第4图		SP40	X3 Y31~32	0.44	0.32	0.26		
第4图		SP41	X1 Y30	0.22	0.16	0.10	縄文土器	
第4图		SX42	X2 Y32~33	1.16	0.60	0.16		
第4图		SX43	X1~2 Y46~48	(3.50)	(1.70)	0.54	縄文土器	
第7图		SD44	X2 Y34	1.60	0.70	0.42	縄文土器-須恵器(杯)	
第4图		SX45	X3 Y31	1.60	0.90	0.26		
第4图		SX46	X3 Y30	1.34	1.06	0.30		
第4图		SP47	X3 Y34	0.54	0.48	0.12		
第4图		SP48	X4 Y35	0.36	0.30	0.14		
第7图	图版5	SK49	X2~3 Y34	0.72	0.40	0.32		
第4图		SX50	X3 Y33~34	1.18	0.98	0.20		
第4图		SP51	X3 Y47	0.46	0.38	0.24		
第4图		SX52	X2 Y37~38	1.32	1.08	0.24		
第4图		SX53	X2 Y40	0.96	0.66	0.18		
第4图		SP54	X2~3 Y31~32	0.40	0.38	0.24		
第4图		SX55	X2 Y31	(0.86)	0.36	0.06		
第4图		SP56	X2 Y31	0.42	0.40	0.24		
第4图		SP57	X1 Y31	0.36	0.28	0.28		
第4图		SP58	X1~2 Y30	0.26	0.24	0.18		
第4图		SP59	X2~3 Y30	0.78	0.60	0.30		
第4图		SP60	X2 Y29	0.68	0.60	0.20		
第4图		SK61	X3 Y30	0.76	0.52	0.20		
第4图		SP62	X2 Y30	0.30	0.24	0.10		
第4图		SP63	X2 Y48	φ0.14		0.02		
第4图		SX64	X2 Y32	0.84	0.46	0.20		
第4图		SP65	X2 Y48	0.24	0.22	0.30		
第4图		SP66	X3 Y47	0.20	0.16	0.10		
第4图		SP67	X2 Y47	0.30	0.26	0.12		
第4图		SP68	X4 Y47	(0.16)	0.14	0.36		
第4图		SP69	X4 Y46~47	0.32	0.22	0.20		
第4图		SP70	X4 Y46	0.24	0.18	0.10		
第4图		SP71	X4 Y46	0.18	0.12	0.22		
第4图		SP72	X4 Y45	0.16	0.12	0.04		
第4图		SP73	X4 Y45	0.26	0.24	(0.12)		

排号	图版	测槽番号	出土区	规格:长	规格:宽	规格:深	出土遗物	備考
第4图		SP74	X4 Y45	0.40	0.28	0.12		
第4图		SX75	X4 Y45	0.46	0.16	0.12		
第4图		SP76	X4 Y44	0.30	0.24	0.58		
第4图		SP77	X4 Y43	0.26	0.16	0.06		
第4图		SP78	X3-4 Y43	0.42	0.34	0.18		
第4图		SP79	X3 Y47	0.20	0.18	0.14		
第4图		SK80	X3 Y46-47	0.60	0.34	0.12		
第4图		SX81	X2 Y45	0.76	0.58	0.26		
第4图		SP82	X3 Y45	0.34	0.20	0.10		
第4图		SP83	X3 Y45	0.20	0.16	0.32		
第4图		SP84	X3 Y44	0.28	0.20	0.06		
第4图		SX85	X2-3 Y43	1.28	0.74	0.14		
第4图		SP86	X2 Y42	0.22	0.20	0.06		
第4图		SP87	X2 Y42	0.24	0.22	0.20		
第4图		SP88	X2 Y41-42	0.20	0.18	0.12		
第4图		SP89	X2 Y42	0.22	0.18	0.10		
第4图		SP90	X3 Y41	0.30	0.22	0.08		
第4图		SP91	X2-3 Y41	0.51	0.40	0.06		
第4图		SP92	X2 Y41	0.28	0.26			
第4图		SP93	X3 Y41	0.22	0.18	0.14		
第4图		SP94	X4 Y42	0.20	0.18	0.12		
第4图		SK95	X4 Y42	0.31	0.21	0.16		
第4图		SX96	X4 Y39	0.52	0.24	0.08		
第4图		SP97	X3 Y39	0.46	0.20	0.12		
第4图		SX98	X3 Y39	1.00	0.70	0.10		
第4图		SX99	X4 Y39	0.31	0.22	0.18		
第4图		SP100	X3 Y40	0.44	0.24	0.10		
第4图		SP101	X2-3 Y39-40	0.46	0.32	0.16		
第4图		SP102	X3 Y40	0.36	0.32	0.26		
第4图		SP103	X4 Y38	0.28	0.26	0.28		
第4图		SP104	X4 Y37	0.26	0.24	0.08		
第4图		SP105	X4 Y37	0.22	0.18	0.20		
第4图		SP106	X3 Y37	0.22	0.16	0.14		
第4图		SP107	X4 Y37	0.26	0.22	0.16		
第4图		SP108	X4 Y38	0.22	0.14	0.10		
第4图		SP109						
第4图		SP110	X2-3 Y37	0.22	0.18	0.12		
第4图		SX111	X3 Y37	0.42	0.18	0.14		
第4图		SX112	X3 Y37	0.34	0.16	0.06		
第4图		SX113	X2 Y37	0.36	0.26	0.08		
第4图		SX114	X2-3 Y36	0.42	0.26	0.08		
第4图		SP115	X2 Y36-37	0.24	0.18	0.14		
第4图		SP116	X2 Y36	0.18	0.16	0.06		
第4图		SP117	X2 Y36	0.30	0.26	0.12		
第4图		SX118	X2-3 Y35-36	1.36	0.78	0.30		
第4图		SP119	X3 Y35-36	0.28	0.28	0.10		
第4图		SP120	X4 Y36	0.48	0.32	0.18		
第4图		SP121	X3-4 Y33	0.32	0.26	0.10		

样 号	图 版	器物序号	出 土 区	规格:长	规格:短	规格:深	出 土 遗 物	备 考
第4图		SP122	X3 Y33~34	0.36	0.26	0.14		
第4图		SP123	X2 Y33	0.56	0.31	0.22		
第4图		SP124	X2 Y32~33	0.30	0.30	0.08		
第4图		SP125	X4 Y33	(0.32)	0.28	0.16		
第4图		SP126	X4 Y32	0.40	0.34	0.22		
第4图		SP127	X4 Y31	0.42	0.36	0.14		
第4图		SP128	X3 Y31	0.24	0.22	0.14		
第4图		SX129	X2~3 Y31	0.72	0.38	0.14		
第4图		SX130	X2 Y30	0.68	0.60	0.16		
第4图		SP131	X2 Y30	0.24	0.22	0.08		
第4图		SP132	X2 Y29	0.30	0.21	0.06		
第4图		SX133	X2 Y29	0.50	0.40	0.10		
第4图		SX134	X3 Y29	1.10	(1.00)	0.22		
第4图		SX135	X3 Y29	0.58	0.44	0.12		
第4图		SX136	X3~4 Y29	1.60	(0.78)	0.22		
第4图		SP137	X4 Y30	0.30	0.28	0.22		
第4图		SX138	X4 Y30	1.14	0.68	0.12		
第4图		SP139	X4 Y30~31	0.54	0.38	0.20	绳文土器	
第4图		SP140	X4 Y31	0.40	0.34	0.50		
第4图		SP141	X4 Y31	0.28	0.26	0.20		
第4图	图版7	SP142	X4 Y31	0.38	0.30	0.38	须惠器(杯)	
第4图		SX143	X2 Y28	1.10	0.84	0.12		
第4图		SX144	X1~2 Y28	0.76	0.46	0.12		
第4图		SP145	X2 Y28	0.30	0.20	0.10		
第4图		SX146	X3 Y28	0.86	0.58	0.06		
第4图		SP147	X1 Y27	0.32	0.28	0.10		
第4图		SX148	X2 Y27	0.88	0.66	0.16		
第4图		SP149	X3 Y27	0.44	0.34	0.18		
第4图		SP150	X2 Y27	0.56	0.32	0.12		
第4图		SP151	X3 Y26~27	0.44	0.30	0.36	绳文土器	
第4图		SP152	X3 Y27	0.46	0.38	0.16		
第4图		SK153	X3 Y26	1.00	0.54	0.34		
第4图		SP154	X2~3 Y26	0.46	0.34	0.16		
第4图		SP155	X3 Y26	0.30	0.24	0.08		
第4图		SK156	X2 Y26	0.96	0.84	0.10		
第4图		SD157	X3 Y22~26	8.26	0.32	0.06		
第4图		SX158	X3~4 Y25	(1.00)	0.60	0.10		
第4图		SP159	X3 Y24	0.30	0.24	0.14		
第4图		SX160	X2 Y24	1.20	0.70	0.14		
第4图		SP161	X2 Y24	0.24	0.22	0.10		
第4图		SP162	X1 Y25	0.44	0.34	0.24		
第4图		SP163	X1 Y25	0.54	(0.36)	0.28		
第4图		SP164	X1 Y24	0.36	0.30	0.08		
第4图		SP165	X1 Y24	0.60	0.40	0.30	须惠器(大甕)	
第4图		SP166	X2 Y24	0.24	0.20	0.20		
第4图		SX167	X2 Y23~24	0.66	0.36	0.18		
第4图		SX168	X3 Y24	0.64	0.54	0.16		
第4图		SX169	X2 Y25	0.82	0.70	0.14		

序号	图版	器物序号	出土区	规格:长	规格:短	规格:深	出土器物	備考
第4图		SP170						
第4图		SP171						
第4图		SK172	X3 Y22	(0.94)	0.90	0.28		
第4图		SP173	X3 Y21	0.34	0.30	0.18		
第4图		SP174	X3 Y21	0.20	0.18	0.20		
第4图		SP175	X3 Y21	0.30	0.30	0.12		
第4图		SP176	X3 Y20	0.34	0.28	0.22		
第4图		SP177	X3 Y20	0.44	0.34	0.06		
第4图		SP178	X3 Y19	0.28	0.24	0.20		
第4图		SP179	X3 Y19	0.40	0.34	0.14		
第4图		SP180	X3 Y19	0.34	0.28	0.22		
第4图		SP181	X2-3 Y19	(0.38)	(0.26)	0.14		
第4图		SP182	X2-3 Y19	(0.36)	(0.20)	0.18		
第4图		SP183	X3 Y18	0.28	0.24	0.10		
第4图		SP184	X2 Y18	0.22	0.20	0.10		
第4图		SP185	X2 Y17	0.24	0.16	0.12		
第4图		SP186	X2 Y17	0.18	0.16	0.12		
第4图		SP187	X3 Y17	0.44	0.34	0.14		
第4图		SP188	X3 Y17	0.36	0.32	0.24		
第4图		SK189	X3 Y16-17	0.56	0.26	0.16		
第4图		SP190	X3 Y16	0.28	0.22	0.14		
第4图		SP191	X3 Y16	0.32	0.26	0.06		
第4图		SP192	X3 Y15	0.32	0.22	0.10		
第4图		SP193	X3 Y15	0.40	0.38	0.32		
第4图		SP194	X3 Y15	φ0.30		0.12		
第4图		SP195	X3 Y14	0.54	0.48	0.34		
第4图		SP196	X3 Y14	0.50	0.30	0.06		
第4图		SP197	X3 Y13	0.30	0.26	0.46		
第4图		SP198	X3 Y13	0.30	0.28	0.10		
第4图		SP199	X3 Y13	0.30	0.28	0.22		
第4图		SP200	X3 Y13	φ0.22		0.14		
第4图		SP201	X3 Y12	0.30	0.20	0.16		
第4图		SP202						
第4图		SP203	X3 Y12	0.28	0.22	0.40		
第4图		SP204	X2 Y13	φ0.22		0.18		
第4图		SP205	X2 Y12	(0.22)	(0.20)	0.10		
第4图		SP206	X2 Y12	(0.40)	(0.22)	0.16		
第4图		SP207	X2 Y12	0.32	0.22	0.16		
第4图		SP208	X3 Y11	0.30	0.22	0.22		
第4图		SK209	X3 Y11	0.82	0.38	0.06		
第8图	图版7	SK210	X2-3 Y10-11	1.74	1.40	0.54	须臾器(杯盖)	
第4图		SP211	X2 Y11	φ0.28		0.26		
第4图		SP212	X2 Y10	0.34	0.28	0.12		
第4图		SP213						
第8图	图版6	SD214	X1-4 Y9-10	(5.80)	1.28	1.06	土陶器盖-须臾器(杯、杯盖、盖)-铁片	
第4图		SP215	X2-3 Y8	0.36	0.34	0.16		
第4图		SK216	X2 Y8	0.78	0.62	0.16		
第8图		SK217	X1-2 Y8-9	1.78	1.16	0.18	须臾器(杯盖、盖)	

坪 四	图 版	遺構番号	出 土 区	規模:長	規模:短	規模:深	出 土 遺 物	備 考
第4区		SP218	X1 Y12	0.26	0.22	0.08		
第4区		SP219	X4 Y7	0.38	0.34	0.40		
第4区		SP220	X3 Y7	0.38	0.34	0.34		
第4区		SP221	X3 Y6	0.38	0.34	0.22		
第4区		SP222	X3 Y5	0.38	0.32	0.18		
第4区		SP223	X4 Y4	0.28	0.20	0.08		
第4区		SP224	X3 Y4	0.34	0.30	0.22		
第4区		SP225	X3 Y4	0.20	0.20	0.10		
第4区		SP226						
第4区		SP227	X4 Y4	0.38	0.26	0.16		
第4区		SP228	X2 Y5	0.36	0.24	0.12		
第4区		SP229	X1-2 Y4	0.46	0.40	0.12		
第4区		SK230	X2 Y4	0.68	0.44	0.26		
第4区		SP231	X2 Y4	0.20	0.20			
第4区		SP232	X2 Y3	0.24	0.22			
第8区	图版7	SK233	X1-3 Y3	2.50	1.28	0.38	土師器(甕)	
第4区		SP234	X3 Y2	0.60	0.34	0.30		
第4区		SP235	X3 Y2	0.24	0.22	0.20		
第4区		SP236	X4 Y2	0.28	0.18	0.18		
第4区		SP237	X4-5 Y2	0.40	0.36	0.48	須恵器(杯)	
第4区		SP238	X4 Y3	0.18	0.16	0.10		
第4区		SP239	X4 Y6	0.28	0.26	0.20		
第4区		SP240	X4 Y1	0.32	0.30	0.06		
第4区		SK241	X2-3 Y1			0.56		
第4区		SP242	X3 Y20	0.16	0.14	0.10		
第4区		SP243	X2 Y16	0.32	0.20	0.14		
第4区		SP244	X4 Y5	0.26	0.22	0.08		
第4区		SP245	X4-5 Y4	0.50	0.40	0.21	土師器(甕)	
第8区		SK246	X4 Y9-10	(2.00)	(0.60)	0.84	土師器(甕)-須恵器(甕)	
第4区		SP247	X2 Y7	0.30	0.22	0.22		
第4区		SP248	X1 Y6	0.26	0.22	0.22		
第4区		SP249	X1 Y6	0.26	0.20	0.30		
第4区		SP250	X1 Y6	0.26	0.22	0.02		
第4区		SP251	X2 Y5	0.24	0.16	0.10		
第4区		SP252	X2 Y5	0.44	0.28	0.12		
第4区		SP253	X2 Y5	0.30	0.22	0.26		
第4区		SP254	X2 Y5	0.40	0.34	0.24		
第4区		SP255	X1 Y6	0.30	0.24	0.08		
第4区		SP256	X1 Y6	φ0.22		0.12		
第4区		SP257	X4 Y3	(0.54)		0.70		
第4区		SP258	X4 Y11	0.28	0.26	0.28		
第4区		SP259	X4-5 Y12	0.26	0.20	0.12		
第4区		SP260	X4 Y12	0.22	0.20	0.10		
第4区		SP261	X4 Y12	0.24	0.16	0.04		
第4区		SP262	X4 Y17	0.40	0.22	0.56		
第4区		SP263	X4 Y22	0.30	0.26	0.10		
第4区		SP264	X3 Y22	φ0.24		0.12		
第4区	图版7	SK265	X1 Y15-16	(1.14)	(0.44)	0.90		

種 別	図 版	遺構番号	出 土 区	規模:長	規模:短	規模:深	出 上 遺 物	備 考
第4区		SP143	X4 Y31	0.36	0.34	0.06		
第4区		SP157	X3 Y26	0.32	0.26	0.22		
第4区		SP169	X4 Y35	0.38	0.30	0.22		

表5 塚越貝坪遺跡(南地区) 出土遺物一覧

No	図 版	遺構番号	種 類	器 種	口 径	器 高	底 径	備 考
1	9	SK02	縄文土器		—	—	—	
2	9	SK02	縄文土器	深鉢	—	—	—	
3	9	SK02	縄文土器		—	—	—	
4	9	SK02	縄文土器	深鉢	—	—	—	
5	9	SK02	縄文土器	深鉢	—	—	—	
6	9	SK02	縄文土器	深鉢	—	—	—	
7	9	SK02	石器		—	—	—	黒曜石割片
8	9	SK02	須恵器	横皿	12.2	—	—	
9	9	SK02	土師器	壺	—	—	8.0	
10	9	SK03	須恵器	杯蓋	14.8	3.8	—	
11	9	SK03	須恵器	杯蓋	15.3	2.7	—	※つまみ径
12	9	SK03	須恵器	杯	—	—	8.6	
13	9	SK03	須恵器	杯	12.8	3.7	(7.8)	
14	9	SK03	須恵器	杯	13.0	2.8	(—)	
15	9	SK03	須恵器	杯	13.4	3.7	(—)	
16	9	SK03	須恵器	杯	14.5	4.5	(8.0)	
17	9	SK03	須恵器	杯	—	—	9.1	
18	9	SK03	土師器	壺	21.8	—	—	
19	9	SK03	土師器	壺	19.3	—	—	
20	9	SK03	土師器	壺	22.4	—	—	
21	9	SK03	土師器	壺	23.0	—	—	
22	9	SK03	土師器	壺	15.7	—	—	
23	9	SK03	土師器	壺	16.8	—	—	
24	9	SK03	土師器	壺	15.6	—	—	
25	9	SK03	土師器	壺	—	—	—	
26	9	SK03	土師器	壺	—	—	9.8	
27	9	SK03	土師器	壺	—	—	—	
28	9	SK03	土師器	壺	—	—	—	
29	9	SK03	土師器	壺	—	—	—	
30	9	SK03	須恵器	壺	28.0	—	—	
31	9	SK03	須恵器	壺	23.8	—	—	
32	9	SK03	土師器	フイゴの羽口	7.40	—	—	残存部最大径
33	9	SK03	土師器	フイゴの羽口	6.40	—	—	残存部最大径
34	10	SK01	須恵器	杯蓋	※3.40	—	—	※つまみ径
35	10	SK01	須恵器	杯蓋	—	—	(15.9)	
36	10	SK01	須恵器	杯蓋	—	—	(17.7)	
37	10	SK01	須恵器	杯	10.8	3.7	6.4	
38	10	SK01	須恵器	杯	12.1	3.9	7.3	
39	10	SK01	須恵器	杯	15.2	6.4	7.2	
40	10	SK01	須恵器	壺	(43.8)	(71.8)	—	※最大割径 79.3
41	10	SK01	土師器	壺	(18.7)	—	—	
42	10	SK01	土師器	壺	(19.0)	—	—	

No	国 版	遺構番号	種 類	器 種	口 径	器 高	底 径	備 考
43	10	SK01	土師器	甕	(20.3)	—	—	
44	10	SK01	土師器	甕	(21.2)	—	—	
45	10	SK01	土師器	甕	(21.3)	—	—	
46	10	SK01	土師器	甕	19.8	—	—	
47	10	SK01	土師器	壺	8.90	—	—	
48	10	SK01	土師器	壺	—	—	4.5	
49	10	SK01	石製品	不明	径19.3	6.7	15.5	泉底幅・高さ・上面幅
50	11	SK139	縄文土器		—	—	—	
51	11	SK139	縄文土器		—	—	—	
52	11	SK139	縄文土器		—	—	—	
53	11	SK233	土師器	甕	12.4	—	—	
54	11	SK233	土師器	甕	18.4	—	—	
55	11	SD44	縄文土器		—	—	—	
56	11	SD44	縄文土器	深鉢	—	—	—	
57	11	SD44	須恵器	杯	13.2	3.1	8.6	
58	11	SK04	縄文土器		—	—	—	
59	11	SK04	縄文土器	深鉢	—	—	—	
60	11	SK04	須恵器	杯蓋	(15.4)	—	—	
61	11	SK04	土師器	甕	(11.3)	—	—	
62	11	SK04	土師器	甕	(14.6)	—	—	
63	11	SK04	土師器	甕	(15.4)	—	—	
64	11	SK04	土師器	甕	(18.4)	—	—	
65	11	SK04	土師器	甕	19.9	—	—	
66	11	SK210	須恵器	杯蓋	(14.0)	—	—	
67	11	SK246	土師器	甕	—	—	—	
68	11	SK246	須恵器	甕	—	—	—	
69	11	SK217	須恵器	杯蓋	(14.0)	—	—	
70	11	SK217	須恵器	噴飯	—	—	—	
71	11	SD214	須恵器	杯蓋	径3.0	—	—	穿つまみ保
72	11	SD214	須恵器	杯蓋	13.6	—	—	
73	11	SD214	須恵器	杯蓋	14.6	—	—	
74	11	SD214	須恵器	杯	(12.8)	—	—	
75	11	SD214	須恵器	杯	—	—	—	
76	11	SD214	須恵器	杯	—	—	7.3	
77	11	SD214	須恵器	杯	—	—	8.0	
78	11	SD214	須恵器	杯	—	—	8.8	
79	11	SD214	須恵器	杯	15.2	6.0	9.8	
80	11	SD214	土師器	壺?	(10.8)	—	—	
81	11	SD214	土師器		(10.8)	—	—	
82	11	SD214	土師器	甕	(21.0)	—	—	
83	11	SD214	土師器	壺or鉢	(26.4)	—	—	
84	11	SD214	須恵器	甕	—	—	—	
85	11	SD214	伊吹		—	—	—	鉄滓付着
86	11	SP15	縄文土器		—	—	—	
87	11	SX43	縄文土器		—	—	—	
88	11	SP41	縄文土器	深鉢	—	—	—	
89	11	SP41	縄文土器	深鉢	—	—	—	
90	11	SP13	縄文土器	深鉢	—	—	—	

No	図 版	透視番号	種 類	器 種	口 径	器 高	底 径	備 考
91	11	SP245	土師器	甕	(24.6)	—	—	
92	11	SP142	須恵器	杯	—	—	9.0	
93	11	SP09	須恵器	杯	12.5	3.3	8.9	
94	11	SP237	須恵器	杯	—	—	8.9	
95	11	SP165	須恵器	甕	37.4	—	—	
96	11	SP151	縄文土器		—	—	—	
97	12	SP151	縄文土器		—	—	—	
98	12	X4Y32	縄文土器	浅鉢	—	—	—	
99	12	X4Y35	縄文土器	浅鉢	—	—	—	
100	12	X4Y43	縄文土器	深鉢	—	—	—	
101	12	X4Y22	縄文土器	深鉢	—	—	—	
102	12	X3Y35	縄文土器	深鉢	—	—	—	
103	12	X2Y27	縄文土器		—	—	—	
104	12	X4Y36	縄文土器	深鉢	—	—	—	
105	12	X2Y42	縄文土器		—	—	—	
106	12	X4Y21	縄文土器	深鉢	—	—	—	
107	12	X3Y49	縄文土器		—	—	—	
108	12	X3Y36	縄文土器	深鉢	—	—	—	
109	12	排土	石器	磨製石斧	—	—	—	
110	12	排水溝	須恵器	杯	12.6	3.2	—	
111	12	X4Y49	須恵器	杯蓋	15.1	—	—	
112	12	X2Y20	須恵器	杯	11.6	4.5	6.4	
113	12	X2Y17	須恵器	杯	—	—	7.0	
114	12	X2Y2	須恵器	杯	—	—	8.0	
115	12	X4Y26	須恵器	鉢	24.4	—	—	
116	12	X4Y18	須恵器	甕	20.0	—	—	
117	12	X2Y1	須恵器	甕	—	—	—	
118	12	X1Y33	土師器	甕	(17.6)	—	—	
119	12	X1Y33	土師器	甕	20.7	—	—	
120	12	X2Y13	土師器	甕	(23.2)	—	—	
121	12	排水器	土師質土器	蓋	17.0	19.4	16.5	



表6 畑跡No.15遺跡 遺構一覽

構 号	図 版	遺構番号	出 土 区	規模:長	規模:短	規模:深	出 土 遺 物	備 考
第14回	図版10	SD01	X5~13 Y1~20	(39.80)	0.90	0.40	土師器壺・把手・須恵器・模灰・高杯・珠洲	
第13回	図版9	SK02	X11 Y17	1.12	(0.60)	0.28	土師器(壺・杯)・須恵器(杯)	
第13回		SP03	X11 Y20	0.42	0.36	0.14		
第13回		SP04	X11 Y19	0.44	0.38	0.08		
第13回		SK05	X13 Y18	0.82	0.64	0.28	土師器(壺)	
第13回		SK06	X13 Y17	1.04	0.70	0.22		
第13回		SP07	X11 Y18	0.28	0.26	0.18		
第13回		SP08	X11 Y18	0.60	0.50	0.50		
第13回		SD09	X12~13 Y17~18	(1.56)	0.30	0.08		
第13回		SP10	X13 Y17	0.52	0.40	0.32		
第13回		SP11	X13 Y17	0.38	0.32	0.18		
第13回		SX12	X13 Y16~17	(0.88)	(0.62)			
第13回		SP13	X12 Y19	0.50	0.40	0.38		
第13回		SK14	X13 Y16	0.60	0.56	0.14		
第13回		SX15	X13 Y15	(0.84)	(0.72)	0.10		
第13回	図版10	SD16	X11~13 Y14~15	0.50	(5.24)	0.24		
第13回		SX17	X12~13 Y12~13	(2.20)	1.58	0.10		
第13回		SP18	X12 Y13	0.32	0.30	0.20		
第13回		SP19	X11 Y13	φ0.28		0.20		
第13回		SP20	X11 Y12	0.34	0.30	0.12		
第13回	図版10	SP21	X11 Y12	0.70	0.36	0.08		
第13回		SP22	X12 Y11	0.66	0.32	0.28		
第13回		SK23	X11~12 Y11~12	1.30	1.20	0.08		
第13回		SP24	X12 Y11	φ0.30		0.20		
第13回		SP25	X11 Y11	0.32	0.26	0.32		
第13回		SP26	X11 Y11	0.40	0.20	0.28		
第13回		SX27						
第13回		SP28	X11 Y9	0.34	0.30	0.16		
第13回		SP29	X11 Y10	0.30	0.22	0.16		
第13回		SP30	X11 Y11	0.38	0.32	0.16		
第13回		SP31	X11 Y11	0.28	0.22	0.10		
第15回	図版10	SK32	X10~11 Y11~12	1.14	0.60	0.20	土師器(壺)・須恵器(杯蓋)	
第13回		SX33	X10~11 Y11	1.32	1.18	0.12		
第13回	図版10	SP34	X10 Y11	0.46	0.20	0.22		
第13回		SP35	X11 Y12	φ0.36		0.24		
第13回		SK36	X10 Y12	0.66	0.52	0.22		
第13回		SP37	X10 Y12~13	0.32	0.30	0.28		
第13回		SP38	X10 Y12	0.34	0.30	0.48	珠洲(壺)	
第13回		SP39	X10 Y11	0.30	0.24	0.22		
第13回		SP40	X10 Y10	0.24	0.20	0.08		
第13回		SX41	X10 Y10	0.44	0.38	0.08		
第13回		SP42	X12 Y15	0.30	0.24	0.06		
第13回		SP43	X11 Y16	0.40	0.28	0.20		
第16回		SX44	X9~11 Y8~9	(4.20)	(1.88)	(0.30)	土師器壺・高杯・小わらじ・珠洲壺・現代瓦片	掘強土坑
第13回		SP45	X10 Y13~14	0.40	0.32	0.30		
第13回		SP46	X10 Y13	0.28	0.24	0.08		
第13回		SP47	X10 Y12~13	0.32	0.26	0.32		

排 段	陶 版	遺構番号	出 土 区	規模:長	規模:短	規模:深	出 土 遺 物	備 考
第13段		SP48	X10 Y12	0.36	0.28	0.16		
第13段		SP49	X9 Y11	0.30	0.26	0.18		
第13段		SK50	X8-10 Y6-7	4.18	1.96	0.20		
第16段		SD51	X7-8 Y5-6	(4.60)	0.40	0.06		
第15段	版版10	SK52	X7-8 Y4-5	2.60	2.00	0.44	土師器(甕)-鉄滓	
第15段	図版10	SX53	X7-8 Y5	2.20	1.96	0.62	須恵器(甕・横瓶)	
第13段		SK54	X6-7 Y3-4	1.50	1.10	0.20		
第13段		SK55	X5-6 Y4	1.72	(0.72)	0.26		
第13段		SX56	X6 Y3	0.68	0.16	0.08		
第13段		SP57	X6 Y3	0.26	0.20	0.04		
第13段		SP58	X6 Y2	0.24		0.08		
第13段		SP59	X6 Y2	0.32	0.18	0.30		
第13段		SP60						
第13段		SX61	X6-7 Y1-2	1.30	0.40	0.12		
第13段		SX62	X5-6 Y1-2	0.80	0.56	0.10		
第16段	図版10	S-63	X9-10 Y6	0.86	0.44	0.94	支脚-鉄滓	
第13段		SK64	X9 Y5-6	1.42	(0.60)	0.08		
第13段		SD17	X12-13 Y14	(1.46)	(0.28)	0.12		

表7 畑跡No.15遺跡 出土遺物一覧

No	図 版	遺構番号	種 類	器 種	口 径	器 高	底 径	備 考
1	17	SK02	土師器	甕	12.9	5.5	—	内面黒色処理
2	17	SK02	須恵器	杯	11.4	3.3	—	
3	17	SK02	土師器	甕	14.1	—	—	
4	17	SK02	土師器	甕	14.4	—	—	
5	17	SK02	土師器	甕	18.0	—	—	
6	17	SP38	珠州	甕	—	—	—	
7	17	SK52	土師器	甕	(15.4)	—	—	
8	17	SK52	土師器	鉢or高杯	(18.1)	—	—	
9	17	SK52	土師器	甕	(18.4)	—	—	
10	17	SK52	土師器	甕	(18.3)	—	—	
11	17	SK52	土師器	甕	(19.3)	—	—	
12	17	SK52	土師器	甕	(22.1)	—	—	
13	17	SK32	須恵器	杯蓋	13.1	(3.7)	—	
14	17	SK32	土師器	把手付鉢	—	—	—	
15	17	SK32	土師器	甕	(20.0)	—	—	
16	17	SK32	土師器	甕	—	—	—	
17	17	SK32	土師器	甕	—	( )	—	
18	17	SD01	土師器?	高杯	(21.7)	—	—	
19	17	SD01	須恵器	高杯	—	—	—	
20	17	SD01	須恵器	横瓶	—	—	—	
21	17	SD01	須恵器	甕	—	—	—	
22	17	SD01	土師器	把手付鉢	—	—	—	
24	17	SK05	弥生土器	甕	—	—	5.8	欠番
25	17	S63	鉄滓	流出滓	—	—	—	
26	17	S63	土製品	支脚	φ3.0	—	—	断面径
27	17	SX53	土師器	甕	17.4	—	—	

No	図版	遺物番号	種類	器種	口径	器高	底径	備考
28	17	SX53	須恵器	横瓶	18.3	—	—	
29	17	SX53	須恵器	横瓶	—	—	—	
30	18	SX44	弥生土器	高杯	—	—	—	
31	18	SX44	土師器	甕	(29.0)	—	—	
32	18	SX44	珠洲	甕	—	—	—	
33	18	SX44	珠洲	甕	—	—	12.8	
34	18	SX44	珠洲	甕	—	—	—	
35	18	SX44		碗	18.2	—	—	
36	18	SX44		碗	11.7	—	—	
37	18	SX44		碗	—	—	6.8	
38	18	SX44	中世土師器	皿	9.0	1.6	—	
39	18	SX44		碗	8.2	—	—	
40	18	SX44		碗	9.0	—	—	
41	18	SX44		碗	8.0	—	—	
42	18	SX44		碗	—	—	17.0	
43	18	X13Y20	土師器	甕	(12.6)	—	—	
44	18	X8Y4	土師器	甕	(13.5)	—	—	
45	18	X8Y4	土師器	甕	(17.8)	—	—	
46	18	X8Y4	土師器	甕	(8.1)	—	—	
47	18	X8Y7	弥生土器	器台	(14.6)	—	—	
48	18	X13Y15	土師器	蓋?	(19.0)	—	—	
49	18	X8Y3	弥生土器	高杯	(17.2)	—	—	
50	18	X8Y3	弥生土器	高杯	(19.3)	—	—	
51	18	X8Y4	土師質土器	蓋	(21.1)	—	—	
52	18	X9Y7	須恵器	横瓶	—	—	—	
53	18	X8Y4	須恵器	横瓶	11.5	—	—	
54	18	X8Y4	須恵器	横瓶	—	—	—	
55	18	X13Y20	珠洲	甕	—	—	—	
56	18	X9Y7	鉄滓	流出滓	—	—	—	部がガラス質化
57	18	X5Y2	鉄滓	流出滓	—	—	—	
58	18	X12Y14	弥生土器	高杯	—	—	—	
59	18	X8Y4	弥生土器	高杯	—	—	—	
60	18	X5Y14	土師質土器	皿	8.2	—	—	
61	18	X8Y4		皿?	(12.8)	—	—	
62	18	X9Y7		碗	7.9	5.2	3.2	



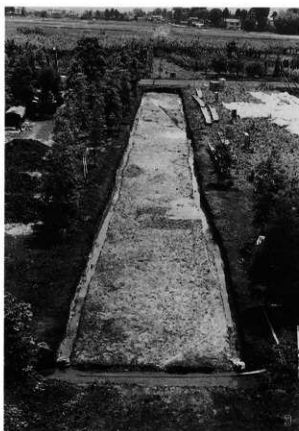
図版2 塚越貝坪遺跡(北地区)



調査前近景(西から)



X1~3Y33~60区(西から)



X1~3Y5~33区(西から)

図版 3 塚越貝坪遺跡(北地区)



表層土の除去



発掘作業風景



SK16 付近の発掘作業



SK16 土器出土状況(上層)



SK16



SK16の土層



SK16 土器出土状況(下層)



埋戻し後(X1~3Y33~60区)

図版 4 塚越貝坪遺跡(南地区)

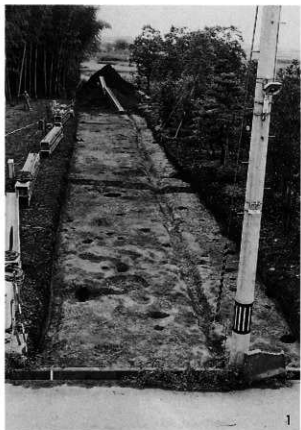


調査前近景(西から)



X1~4Y25~48区(西から)

図版5 塚越貝坪遺跡(南地区)



X1~4Y1~25区(東から)



発掘風景(東から)



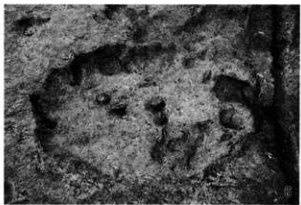
SK01の発掘作業



SK01の土層



SK01 土器出土状況



SK01 完掘後



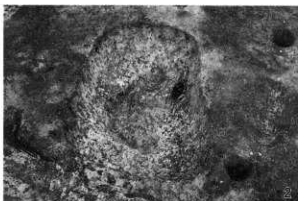
SK49



図版6 塚越貝坪遺跡(南地区)



SK02の土層



SK04



SK03 遺構検出状況



SK03



SK03 土器出土状況(上層)



SK03 土器出土状況(下層)



SD214(南から)



SD214の土層

図版7 塚越貝坪遺跡(南地区)



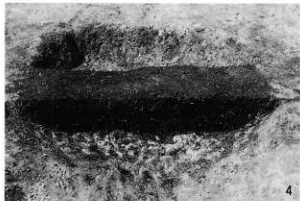
X1~4Y1~25区発掘作業(西から)



SK265の土層



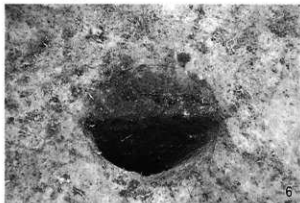
SK210の土層



SK233の土層



SP142の土層



SP22の土層



SP07の土層



埋戻し後(西から)

図版 8 畑総No.15遺跡



調査前近景(西から)



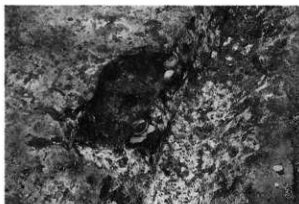
X7~13Y8~20区(西から)



X3~10Y1~10区 (西から)



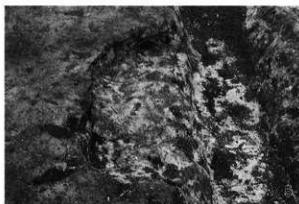
X7~13Y8~20区 遺構検出状況 (西から)



SK02 土器出土状況



SK02 土器出土状況



SK02

図版10 畑糸No.15遺跡



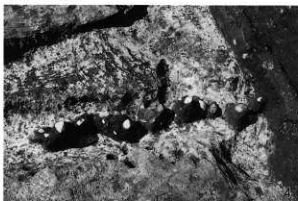
発掘作業風景(東から)



SD16の土層



SD01 A-A'の土層



SD01 遺物出土状況



SK32 土器出土状況



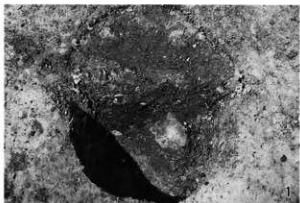
SP21



SK32の土層



SK32 土器出土状況



SP34 遺物出土状況



SX53, SK52の土層



S63 A-A'の土層



S63 B-B'の土層



S63 遺物出土状況



S63



X3~10Y1~10区 作業風景(東から)



埋戻し後(西から)

# 報告書抄録

ふりがな	つかこしあいつほ 塚越 塚越日坪遺跡 畑総No15遺跡発掘調査概要							
書名	塚越日坪遺跡、畑総No15遺跡発掘調査概要							
副書名	一県営畑地帯総合整備事業呉羽射水山ろく地区に伴う埋蔵文化財発掘調査一							
編著者名	原田義範							
編集機関	小杉町教育委員会							
所在地	〒939-0393 富山県射水郡小杉町戸破1511 TEL 0766-56-1511							
発行年月日	西暦 2000年3月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査 面積㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
つかこしあいつほ 塚越日坪	いみず こさぎ つかこし 射水郡小杉町塚越 あいつほ 字日坪	16381	045	36度 42分 08秒	137度 07分 18秒	1987.10.12～ 1987.10.16	490	県営畑地帯総合土地 改良事業に先立つ 試掘調査 (A地区)
						1988.11.1～ 1988.12.2	86	県営畑地帯総合土地 改良事業に先立つ 試掘調査 (B地区)
						1999.5.21～ 1999.6.24	447	県営畑地帯総合整備 事業に先立つ本調査 (北地区)
						1999.6.25～ 1999.8.21	576	県営畑地帯総合整備 事業に先立つ本調査 (南地区)
はたそり 畑総No15	いみず こさぎ 射水郡小杉町 なかにいだしん 中老田新	16381	046	36度 42分 14秒	137度 07分 32秒	1998.6.26	197	県営畑地帯総合整備 事業に先立つ 試掘調査
						1999.5.14～ 1999.5.15	24	
						1999.8.25～ 1999.9.16	230	県営畑地帯総合整備 事業に先立つ本調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
塚越日坪 (北地区)	散布地	弥生時代終末期  古墳時代前期	土坑	弥生土器  古式土師器				
塚越日坪 (南地区)	集落 製鉄	縄文時代中期  奈良時代	土坑  土坑 柱穴(掘立柱建物)	縄文土器・石器  古代土師器・須恵器 鉄滓				
畑総No15	集落 製鉄	弥生時代終末期～ 古墳時代前期 飛鳥時代～ 奈良時代  中世	土坑  土坑・炭焼窯  溝	弥生土器 古式土師器  古代土師器・須恵器 支脚・鉄滓 珠洲				

平成12年3月30日 発行

**塚越貝坪遺跡，畑総No.15遺跡発掘調査概要**

—県営畑地帯総合整備事業外羽射水山ろく地区に伴う埋蔵文化財発掘調査—

編集 小杉町教育委員会  
発行

〒939-0393 富山県射水郡小杉町戸破1511

TEL 0766-56-1511

印刷 日興印刷株式会社



